

ダイジェスト版



教科書

- 「学びやすい」「教えやすい」を追求！
- 2 新高校の数学シリーズの特長
- 4 目次
- 6 教科書の手引き
- 8 デジタルコンテンツの紹介
- 10 数学 I
- 36 数学 A
- 50 QR コンテンツ
- 52 章の構成と時間配当表

副教材

- 53 教科書傍用問題集、補助教材

教授資料など

- 54 教授資料の構成
- 55 解説動画
- 56 教授資料本冊
- 58 学習評価に関する参考資料
- 59 デジタルコンテンツに関する参考資料
- 60 教授資料付属データ一覧
- 61 授業用スライド、授業用ワークシート
主体的・対話的で深い学びへの参考資料
- 62 自ら学べる丁寧な解答一覧
- 64 解説動画対応のプリント類
- 65 Google フォーム
- 66 Studyaid D.B.
- 68 デジタル教科書／副教材
チャート×ラボ

ぼくも教科書紙面に
登場するよ！



数研出版公式キャラクター
数犬チャ太郎



教科書のご案内サイトは
こちら！



教科書の紹介動画は
こちら！

「学びやすい」「教えやすい」を追求!

2022年度から実施されている高等学校教育課程では、学習教材に求められることも多様になっていきます。

科目編成の変化による学習内容の変更だけではなく、ICT教材の積極的な活用、数学的活動の充実、統計教育のさらなる拡充など、教育の変化、教育を取り巻く環境の変化に合わせて教科書が担う役割も変わっていくべきであることを、私たちも日々実感しています。

数研出版の教科書は、従来からの良さを引き継ぎつつも、新しい学びに対応していくように、様々な要素を盛り込み、「学びやすい」「教えやすい」を追求しました。

ここでは、新高校の数学シリーズにおける様々な教科書の工夫について、特徴的なものを取り上げていきます。

ICT教材の積極的な活用

紙面だけではイメージしにくいグラフや図形などの動きをアニメーションで見たり、生徒さん自身が実際に手を動かしながら考察できたりするようなQRコンテンツを多数収録し、紙面の関連する箇所に というマークで示しました。

紙面の見開き右下にあるQRコードや巻頭のURLから、これらのコンテンツにアクセスできます。

このように、
 $x^2 - 2px$ は、 $(x-p)^2 - p^2$ と変形
できます。

71

また、計算問題を補充できるQRコンテンツを豊富に収録しました。

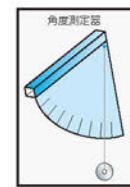
さらなる練習量の確保が可能です。

→詳しくは 50, 51 ページへ

数学的活動の充実

「新高校の数学シリーズ」では、日常生活の問題を、数学を用いて解決するような事例を取り上げています。

例えば、数学Ⅰの課題学習では、学校生活に関連する題材として、校舎の高さを屋上に上がりずに測るという課題を取り上げました。巻末の付録の教具を使うことで実践的な活動と数学の活用法が結びつき、興味・関心を引き出すことができます。



また、適宜、穴埋めや図表の作成などを行うことで、学習意欲が引き出されるような場面を豊富に用意しました。

→詳しくは 28, 29 ページへ

統計教育のさらなる充実

① データの整理

下の表は、ある年の全国高校駅伝大会の女子都道府県代表校の成績です。
都道府県 [] の成績は [] 分 [] 秒です。
または、全体の中で [] 位で、[] 位であります。
【はやい方、真ん中あたり、遅い方】
です。○をつけましょう。



あるスイーツ店がショートケーキの味を改良しています。
店を訪れた客から20人をかたよりなく選び、試食してもらいました。
その結果、20人中15人がおいしくなったと回答しました。
この回答のデータから、
① ショートケーキはおいしくなったと感じた人の方が多い。
と判断してよいでしょうか。

度数を%に換算しました。

度数	%
4	2
5	5
6	10
7	15
8	20
9	25
10	30
11	35
12	40
13	45
14	50
15	55
16	60

現課程では、統計分野の内容拡充も大きなポイントのひとつです。数学Ⅰのデータの分析では、全国駅伝の記録やプロ野球の記録など、身近なスポーツの実際のデータを扱っています。

→詳しくは 30, 31 ページへ

また、「仮説検定の考え方」では親しみやすいよう、スイーツ店でショートケーキの味を改良できたかを判定する例を取り上げました。さらに改訂版では、グラフを追加し、視覚的に実感できるような説明を心掛けました。

→詳しくは 32, 33 ページへ

課題学習④
校舎の高さをはかる

校舎の屋上に上がりずに、校舎の高さをはかりましょう。
どのようにすればよいでしょう。

予想しよう
校舎の高さはどれくらいでしょうか。予想してみましょう。

実験しよう
校舎の高さを求めてみましょう。

考え方
右の図で、校舎の高さはBCです。
角Aの三角比は、次のように表されます。

$\sin A = \frac{AB}{AC}$
 $\cos A = \frac{AC}{AB}$
 $\tan A = \frac{BC}{AC}$

ABの高さを求めるのはむずかしいね。

よって、BCを求めるには、
サイン コサイン タンジェント 正しいものを〇で囲みましょう。
を使えばよいことがわかります。

したがって、校舎の高さ BC は、三角比を使って次のように表すことができます。

$BC = \boxed{\quad} \times \boxed{\quad} A$

上で選んだ三角比を、記号で入れましょう。

132

新 高校の数学シリーズの特長

新 高校の数学シリーズは

わかりやすい記述によって数学が身に付き、役立つ

ように編集した大判サイズの教科書です。

具体的には、次の3点が大きな特長です。

1 「ていねいな文章」や「くわしい図解」による

わかりやすい記述で、基礎が確実に学べます。

●新 高校の数学シリーズは、従来から、数学の基礎・基本の定着を図るという方針を大切にしており、無理のない流れで学習内容が理解できるように編集しています。

★基本的な内容を厳選し、図解や手順を多く扱い、丁寧に解説することで新しい内容がスムーズに理解できるように配慮しました。

★基本的かつ重要な内容は、反復問題を充実させ、演習する量を確保することで定着できるようにしました。節末の確認問題や、QRコンテンツによる補充問題も充実しています。

2 次方程式の解き方

$x^2+3x-10=0, x^2-6x+9=0$ のように、 x の2次式で表された方程式を、 x の2次方程式といいます。因数分解を利用して、2次方程式を解きましょう。

ふりかえり
因数分解
23~25ページ

★小中学校の復習の内容も掲載し、ギャップをなくすようにしています。また、「ふりかえり」マークによって既習事項が確認できます。

★改訂版からは、

「第●章を学習する前に」という、既習事項が復習できる復習問題のQRコンテンツを章始めに設けました。

専用HPから関連情報にアクセスすることができる目次です。

56 第2章を学習する前に

Link 第2章の公式集・用語辞書

2 図や写真・イラストを多用したビジュアルで親しみやすい教科書です。

●「好きこそもの上手なれ」のたえのように、ものごとに興味をもち、好きになってもらうことは重要です。

★写真やイラストを多用しました。

また、教具を紹介したり作業的要素を充実させたりすることで、数学に親しみを感じてもらい、理解が深められるようにしました。



左の図の四角形 ABCD の頂点はすべて円周上にあります。角度をはかることで、次の角の和をそれぞれ求めましょう。 $\angle A + \angle C = \square^\circ$, $\angle B + \angle D = \square^\circ$

ここで
学ぶこと
4つの頂点が円周にある四角形に関する性質について学びます。

3 具体的な話題を取り上げており、

数学が社会に出てからも 役に立つことを実感 できます。

●数学が、実生活の中で息づいていることを紹介することで、生徒の学習意欲を引き出すように配慮しました。

★章とびらでは、実生活の問題を取り上げ、その章の中で解決することで、生徒に「こんなところでも数学が役立っている」ことを感じてもらえるようにしました。

★実生活と関連がある問題やコラムには日常マークを付けて、そのことが一目でわかるようにしました。

長さ 20 m のロープで長方形の囲いを作ります。囲いの面積が最も大きくなるのは、どのような長方形のときでしょうか。

abc, acd, abd, bcd

長さ 20 m のロープで長方形の囲いを作ります。囲いの面積が最も広くなる方法を見つけることができるようになります。

↑章とびらの課題を ↓本文で解決

他にも 4.5 m 5.5 m のような場合もあるから、最も広くなる囲い方を見つけるのは大変かも……

長方形のたての長さとよこの長さの和は 10 m である。よって、たての長さを x m とすると、よこの長さは $(10-x)$ m たての長さ、よこの長さは正の数なので

教科書の目次

改訂版 新 高校の数学 I

中学までの復習がスムーズにできるような項目立てにしています。
数学 I の「集合と命題」は後半の第 4 章で扱いました。…②

第1章 数と式 P.6	第4章 集合と命題 P.134
第1節▶数と式の計算	
① 計算の基本 8	① 集合 136
② 単項式と多項式 11	② 命題と集合 139
③ 多項式の加法と減法 14	③ 必要条件と十分条件 142
④ 多項式の乗法 16	確認問題 146
⑤ 展開の公式 20	コラム 147
⑥ 因数分解 23	課題学習 148
⑦ 展開、因数分解の工夫 28	
⑧ 根号を含む式の計算 29	第5章 データの分析 P.150
コラム 33	① データの整理 152
⑨ 実数 34	② データの代表値 155
確認問題 37	③ データの散らばり 158
コラム 39	④ データの相関 165
第2節▶1次不等式	⑤ 仮説検定の考え方 170
① 1次方程式 40	確認問題 172
② 不等式 42	コラム 173
③ 不等式の解 46	課題学習 174
確認問題 51	
コラム 51	記号の読み方 177
問題 52	ふりかえり 178
コラム 53	解答編 180
課題学習 54	さくいん 190
第2章 2次関数 P.56	三角比の表 192
第1節▶2次関数のグラフ	
① 関数 58	第2節▶三角形への応用
② 1次関数のグラフ 60	① 三角形の面積 119
③ 2次関数のグラフ(1) 62	② 正弦定理 120
④ 2次関数のグラフ(2) 71	③ 余弦定理 124
確認問題 76	確認問題 128

数学についての話題として
コラム
を数多く扱っています。…②

改訂版 新 高校の数学 A

第1章 場合の数と確率 P.6	第2章 図形の性質 P.56	第3章 数学と人間の活動 P.100
第1節▶場合の数		
① 集合 8	① 図形の基本 58	① 約数と倍数 102
② 集合の要素の個数 10	② 角の二等分線と線分の比 64	② ユークリッドの互除法 106
③ 和の法則と積の法則 13	③ 三角形の外心、内心、重心 66	③ 2進法 109
④ 順列 16	④ 円周角の定理 72	コラム 113
⑤ 組合せ 22	⑤ 円に内接する四角形 74	④ 点の位置の表し方 114
コラム 28	⑥ 円の接線 76	コラム 117
確認問題 29	⑦ 方べきの定理 80	⑤ 数学とゲーム・パズル 118
第2節▶確率	⑧ 2つの円 83	確認問題 122
① 事象と確率 32	⑨ 作図 84	問題 122
コラム 35	コラム 88	
② 確率の計算 36	確認問題 89	
③ 独立な試行と確率 42	第2節▶空間图形	
④ 条件つき確率 46	① 空間の直線、平面 92	
⑤ 期待値 50	② 正多面体 95	
コラム 52	コラム 97	
確認問題 53	問題 98	
問題 55	コラム 99	
記号の読み方 123		
解答編 124		
さくいん 128		

それぞれの巻末に
記号の読み方
を掲載しています。…②

●内容解説について

- 内容解説を、各所に枠囲みで示しました。
- 内容解説は、次の 3 種に分け、末尾に「…①」のように示しています。
 - ①数研シリーズ全般に関するポイント
 - ②このシリーズ特有のポイント
 - ③デジタルコンテンツに関するポイント

この本の使い方

「説明文」「例」「例題」などで学んだあとに、
「練習」「確認問題」「問題」を実際に解くことで、
自然と力がつくようになっています。 …②

この教科書は、次のような部分から成り立っています。

	項目の初めに、簡単な導入問題を扱いました。 むずかしい知識はいりません。印をつけたり、簡単な計算をしたりして、その項目を学ぶ準備をしましょう。
	その項目で学ぶことをまとめています。 学習の目標にしましょう。
例 1	基本的な具体例や計算例です。 よく読んで、十分に理解しましょう。
例 題 1	その項目の代表的な問題です。 解答は、その後の練習を解くときの参考にもなります。 また、必要に応じて例題の下に をまとめました。
練習 1	内容が理解できたか、確かめるための問題です。 まずは、自分の力でよく考え、わからないときには、例や例題を参考にして、もう一度チャレンジしましょう。 がある練習については、もっと練習したいときに、確認問題を追加して解くとよいでしょう。
復	中学校を含め、今までに習った内容の復習です。 ここを確実にしてから、新しい内容に進みましょう。
確認問題	節の終わりにある、確認のための問題です。 節の終わりにまとめて解いてもよいですし、 を利用して、練習に追加して解くこともできます。 で、本文中の例、例題にもどることもできます。 として、ひとまとめの問題をランダムに並べた問題もあります。最終確認としてチャレンジしてみましょう。
問題 A	必要に応じて章の終わりにある、ややむずかしい問題です。 AとBの2段階に分かれています。 を参考にしながら解いていきましょう。
	日常生活と関連のある問題や話題についています。
	それまでに学んだ内容と関係する場面に登場します。 参照ページが示されているものは、必要ならばもどって確認しましょう。

きめ細かく段階を踏んでおり、数学の基本が
スムーズに学習できるようにしました。 …②

練習、確認問題、問題の答

コラム
COLUMN

課題学習

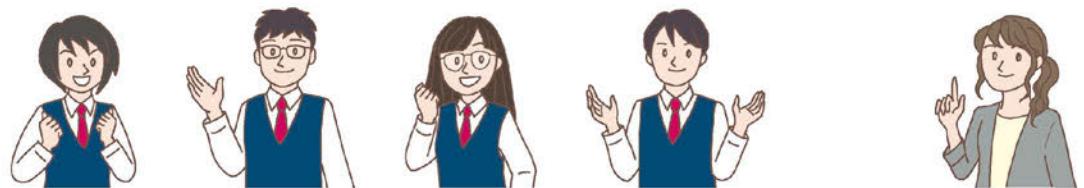
練習、確認問題、問題の答を巻末にのせました。

数学についての話題を中心に取り上げました。

教科書で学習したことを使って、日常にある数学について、
考えたりやってみたりするページです。
鉛筆とノートだけでなく、いろいろな道具や体全体を使って、
数学を楽しみましょう。

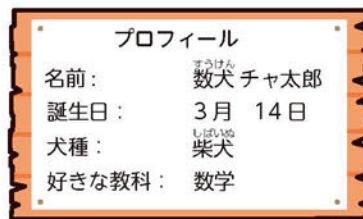
いっしょに学ぶ生徒たち

先生



生徒や先生が登場して、学びのヒントや
補足を与えてくれます。 …②

マスコット・キャラクター



数研出版の公式キャラクター
である「数犬チャ太郎」も
適所に登場します。 …②

インターネットへのリンクマーク

本冊子 次ページ参照。 …①

この教科書の理解を助けるアニメーション、
教科書に関連した参考資料、補充問題などが
利用できる目印です。

次の URL を入力または二次元コードを読み取ることで利用できます。
必要に応じて活用しましょう。

⚠ インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される
方の負担となりますのでご注意ください。



<https://www.chart.co.jp/qr/26mu1/>



NEW! 教科書 p.1 の左のページです。改訂版では、これまでよりもさらに多くのデジタルコンテンツを用意しました。 …①

本書で扱うデジタルコンテンツについて

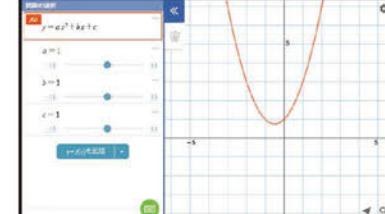
● インターネットへのリンクマーク

この教科書では、 の箇所で、関連したデジタルコンテンツを利用することができます。

Link イメージ 動画やアニメーションによって、教科書の内容を理解しやすくするコンテンツです。



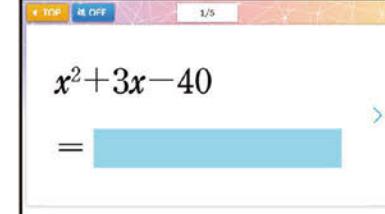
Link 考察 グラフをかいたり動かしたりして、理解を深めることができるコンテンツです。



Link 資料 教科書の内容に関連した情報を表示するコンテンツです。

平方根のおよその値
$\sqrt{2}$ 1.4142135
$\sqrt{3}$ 1.7320508
$\sqrt{5}$ 2.2360679
$\sqrt{6}$ 2.4494897
$\sqrt{7}$ 2.6457513
$\sqrt{8}$ 2.8284271
$\sqrt{10}$ 3.1622776

Link 補充 教科書の練習の反復問題を表示するコンテンツです。



その他にもさまざまなコンテンツを収録しています。

既習内容の確認問題
公式を理解する動画

数学の理解を深める動画



● デジタルコンテンツへのアクセス方法

次の URL を入力または二次元コードを読み取ることで利用できます。

⚠ インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。

<https://www.chart.co.jp/qr/26mu1/>



NEW! デジタルコンテンツがある見開きページでは、原則右ページ下に QR コードを掲載しました。
素早いアクセスが可能になりました。(本冊子 p.11 参照) …③

様々なデジタルコンテンツをご用意しました

■ 第〇章を学習する前に

■ 第1章 <数と式> を学習する前に

ここでふりかえろう！

1 次の計算をしなさい。
 (1) $7+(-9)$ (2) $3-(-4)$ (3) $-5+8$
 (4) $-13+10$ (5) $-12-(-5)$ (6) $-(-9)-9$

→ 8ページ <正の数、負の数のたし算、ひき算>

2 次の計算をしなさい。
 (1) $(-8)\times 2$ (2) $4\times(-5)$ (3) $(-9)\times(-3)$

→ 8ページ <正の数、負の数のかけ算>

3 次の計算をしなさい。
 (1) 2^4 (2) $(-3)^2$ (3) $(-2)^5$ (4) -5^2

→ 9ページ <累乗の計算>

■ 第〇章の内容

無理数

円周率 π

■ 公式集

1. 指数法則

m, n は正の整数とする。

1 $a^m \times a^n =$ []
 2 $(a^m)^n =$ []
 3 $(ab)^n =$ []

たとえば、 a^3 と a^5 について
 $a^3 \times a^5 = (a \times a \times a) \times (a \times a \times a) = a^{3+5} = a^8$
 $(a^3)^5 = (a \times a \times a) \times (a \times a \times a) \times (a \times a \times a) \times (a \times a \times a) = a^{3 \times 5} = a^8$
 $(ab)^3 = (ab) \times (ab) \times (ab) = (a \times b) \times (b \times a) = a^3 b^3$

■ 用語辞書

1. 2 次関数

あたい 値

関数 $y=f(x)$ において、 x の値 a に対応して決まる y の値を $f(a)$ と書き、 $f(a)$ を関数 $f(x)$ の $x=a$ における値という

例 2 次関数 $f(x)=x^2$ の $x=2$ における値は $f(2)=2^2=4$

■ 既習内容の確認問題

1. 分数の計算

次の計算をせよ。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{3}{4}$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 × C 探点

■ 数学の理解を深める動画

$6 \div 2 = 3$

$100 \div 0 = ?$

計算すると 0 になる
 $100 = ? \times 0$

当てはまる数がない

■ 公式を理解する動画

$\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$

$\cos(90^\circ - \theta) = \sin \theta$

$\tan(90^\circ - \theta) = \frac{1}{\tan \theta}$

90° - θ の角が左下になるような図を考える！

■ ゲーム・パズルの中の数学(数学 A)

ゲーム・パズルの中の数学

石抜ウゲム
三目並べ
タハタン
ラムゼーゲム
ハノイの塔
ひとりでプレイ
1P vs 2P(チャ太郎)
データ更新

戦略を論理的に考えてみよう！
僕は強いよ！

デジタルコンテンツについては、本冊子 p.50, 51 もご確認ください。



サンプルは
こちら！

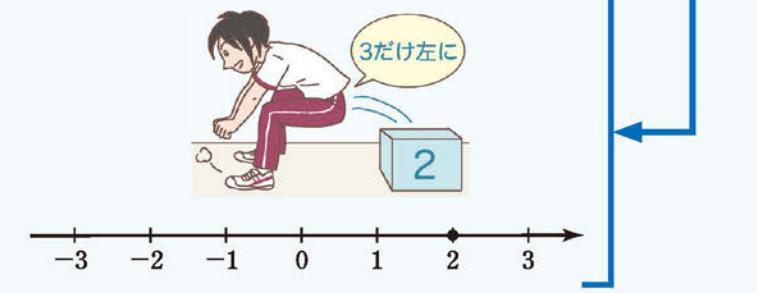
第1節 ▶ 数と式の計算

1 計算の基本

2より3小さい数はいくつでしょうか。

右の数直線には、2を表す位置に点があります。

この点から3だけ左の位置にある点を、数直線上に記してみましょう。

ここで
学ぶこと

数学では、多くの場面で正確な計算が必要になります。
まずは、基本的な計算を確認しましょう。

復

正の数と負の数

既習事項の復習の部分には **復** マークを付けています。
ここでは、基本的な計算を詳しく扱いました。 …②

例1 [正の数、負の数のたし算、ひき算]

$$(1) 2 + (-3) = 2 - 3 = -1 \quad (2) 2 - (-3) = 2 + 3 = 5$$

$$\begin{aligned} \textcolor{pink}{\square} + (-\textcolor{blue}{\circ}) &= \textcolor{pink}{\square} - \textcolor{blue}{\circ} \\ \textcolor{pink}{\square} - (-\textcolor{blue}{\circ}) &= \textcolor{pink}{\square} + \textcolor{blue}{\circ} \\ \text{「}-\textcolor{blue}{\circ}\text{をひく」は、「}\textcolor{blue}{\circ}\text{をたす」と同じです。} \end{aligned}$$

練習 1 次の計算をしなさい。

$$(1) 5 + (-7) \quad (2) 1 - (-2) \quad (3) -3 + 6 \\ (4) -8 + 5 \quad (5) -10 - (-3) \quad (6) -5 - (-5)$$

→ 正の数、負の数のかけ算では、符号+、-に注意しましょう。

$$\begin{array}{ll} (+) \times (+) = (+) & (-) \times (-) = (+) \\ (+) \times (-) = (-) & (-) \times (+) = (-) \end{array}$$

→ 同じ 符号の2数の積は正
→ 異なる 符号の2数の積は負

例2 [正の数、負の数のかけ算]

$$(1) (-3) \times 4 = -(3 \times 4) = -12 \quad (2) (-3) \times (-4) = +(3 \times 4) = 12$$

⚠ 答が正の数になるときは、符号+は省略します。

練習 2 次の計算をしなさい。

$$(1) (-5) \times 3 \quad (2) 2 \times (-4) \quad (3) (-2) \times (-4)$$

→ や ⚠ による補足や注意が、学習の助けになります。 …②

復

→ $2 \times 2 \times 2 = 2^3$ のように、同じ数を何個かかけたものは、累乗の形で表せます。

← 2^3 は「2の3乗」と読みます。

例3 [累乗の計算]

$$(1) 3^2 = 3 \times 3 = 9 \quad (2) (-2)^3 = (-2) \times (-2) \times (-2) = -8$$

$$3^2 = \underbrace{3 \times 3}_{2\text{ 個}}$$

3を2個かけたもの

練習 3 次の計算をしなさい。

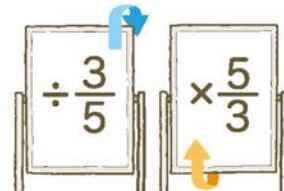
$$(1) 4^3 \quad (2) (-6)^2 \quad (3) (-3)^3 \quad (4) -2^5$$

分数の計算

多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。 …①

→ 分数の計算は、次のようにします。

- ① かけ算は、分母どうし、分子どうしをかける。
- ②わり算は、わる数の分母と分子を逆にしてかける。
- ③ 分母が異なる場合のたし算、ひき算は、通分してから分子の計算を行う。



分母の数を同じにすること

例4 [分数の計算]

$$\begin{aligned} (1) \frac{1}{2} \times \frac{5}{3} &= \frac{1 \times 5}{2 \times 3} = \frac{5}{6} \\ (2) \frac{1}{5} \div \frac{3}{10} &= \frac{1}{5} \times \frac{10}{3} = \frac{1 \times 10}{5 \times 3} = \frac{2}{3} \\ (3) \frac{2}{3} + \frac{1}{4} &= \frac{2 \times 4}{3 \times 4} + \frac{1 \times 3}{4 \times 3} \quad \leftarrow 3 \text{と} 4 \text{の最小公倍数} 12 \text{を} \\ &= \frac{8}{12} + \frac{3}{12} = \frac{8+3}{12} = \frac{11}{12} \quad \text{分母として通分します。} \\ (4) \frac{1}{3} - \frac{5}{6} &= \frac{1 \times 2}{3 \times 2} - \frac{5}{6} = \frac{2}{6} - \frac{5}{6} = \frac{2-5}{6} = \frac{-3}{6} = \frac{-1}{2} \end{aligned}$$

既習の用語、公式、計算方法を適宜ふりかえることができます。(本冊子 p.34, 35 参照) …②

→ 約分できるときは、必ず約分します。

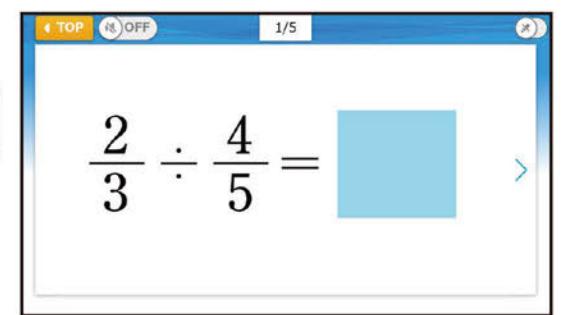
ふりかえり
最小公倍数
▶ 178 ページ

練習量を補充する計算問題を、デジタルコンテンツで豊富に用意しました。 …③

練習 4 次の計算をしなさい。

$$(1) \frac{1}{3} \times \frac{5}{6} \quad (2) \frac{3}{2} \times \frac{8}{3}$$

$$(5) \frac{1}{6} + \frac{5}{4} \quad (6) \frac{1}{6} + \frac{7}{4} \quad (7) \frac{1}{6} - \frac{1}{4} \quad (8) 3 - \frac{2}{5}$$



9

デジタルコンテンツがある見開きページでは、原則右ページ下にQRコードを掲載しました。
素早いアクセスが可能になりました。 …③



たすきがけの因数分解

苦手な生徒が多い「たすきがけの因数分解」は、見開き2ページを使って丁寧に解説しています。…②

→ 22ページの展開の公式4から、次の公式がえられます。

因数分解の公式4

$$acx^2 + (ad+bc)x + bd = (ax+b)(cx+d)$$

この公式を使って、 $3x^2+5x-2$ を因数分解しましょう。

$$ac=3, \quad ad+bc=5, \quad bd=-2$$

となる整数 a, b, c, d をさがします。

$$\begin{array}{c} acx^2 + (ad+bc)x + bd \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \downarrow \\ 3x^2 + 5x - 2 \end{array}$$

← 次のような図式を利用します。

$$\begin{array}{c} ac \quad bd \\ a \times b \rightarrow bc \\ c \times d \rightarrow ad \\ \hline ad+bc \end{array}$$

例 23

因数分解の公式(たすきがけ)

$3x^2+5x-2$ を因数分解します。

- ① $ac=3$ について 1×3 ← かけて3となる2つの数
 $bd=-2$ について $1 \times (-2), (-1) \times 2, 2 \times (-1), (-2) \times 1$ ← かけて-2となる2つの数

と考えます。

- ② この中で、 $ad+bc=5$ となるかを、たとえば、 $3=1 \times 3, -2=1 \times (-2)$ の場合で調べます。

$$\begin{array}{c} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{3} \rightarrow 3 \quad 3 \times 1 \text{ ななめにかける} \\ 3 \times -2 \rightarrow -2 \quad 1 \times (-2) \end{array}$$

次のような手順です。

- ななめにかける
- たてにたす
- x の係数5と等しいかを確認

$$\begin{array}{c} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{3} \rightarrow 3 \quad 3+ \\ 3 \times -2 \rightarrow -2 \quad 1 \leftarrow \\ \hline 1 \quad -2 \end{array}$$

①の部分が x の係数5と等しく
 $3=1 \times 3, -2=1 \times (-2)$ の場合

たすきがけの手順が、段階ごとに表示されるコンテンツです。…③

たすきがけの計算は、失敗した場合も掲載することで、試行錯誤の過程を丁寧に示しています。…②

$$\begin{array}{r} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{3} \rightarrow 3 \\ 3 \times -2 \rightarrow -2 \\ \hline 1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{-1} \rightarrow -3 \\ 3 \times 2 \rightarrow 2 \\ \hline -1 \end{array}$$

x の係数5と等しいとき○、等しくないとき×をつけましょう。

$$\begin{array}{r} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{2} \rightarrow 6 \\ 3 \times -1 \rightarrow -1 \\ \hline 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \quad -2 \\ 1 \times \cancel{-2} \rightarrow -6 \\ 3 \times 1 \rightarrow 1 \\ \hline -5 \end{array}$$

← このような方法を「たすきがけの方法」と呼びます。



$$\begin{array}{c} a \times b \rightarrow bc \\ c \times d \rightarrow ad \end{array}$$

Link 考察

- ③ $a=1, b=2, c=3, d=-1$ のときが適するので

$$3x^2+5x-2=(x+2)(3x-1)$$

と因数分解できます。

たすきがけに当てはまる4つの数を入力し、正否を判定するコンテンツです。…③

練習 30

次の□にあてはまる数を入れて、 $2x^2$ 因数分解しなさい。

$$\begin{array}{r} 2 \quad 5 \\ 1 \times \square \rightarrow \square \\ 2 \times \square \rightarrow \square \\ \hline -11 \end{array}$$

因数分解した式は展開して確かめよう。

3	x^2	+	5	x	+	-2
1	\times	1	\times	3	\times	-1
1	\times	3	\times	-2	\rightarrow	-2
						X
						△

したがって

$$2x^2-11x+5=(\quad)(\quad)$$



練習 31

次の式を因数分解しなさい。

- (1) $2x^2+3x+1$
- (2) $5x^2+16x+3$
- (3) $2x^2-5x+3$
- (4) $7x^2-15x+2$
- (5) $5x^2+3x-2$
- (6) $3x^2-8x-3$
- (7) $3x^2+4x-4$
- (8) $6x^2+7x+2$

もっと練習しよう！
38ページ確認問題12

補充

練習量を増やしてさらなる定着を図りたい場合には、節末の類題「確認問題」が活用できます。
(本冊子 次ページ参照) …②



本文中の練習問題の類題を扱ったページです。
十分な反復量を確保できます。 …②

確認問題

因数分解



ふりかえろう!

23ページ 例19

8 次の式を因数分解しなさい。

- (1) $2x^3 - 8x^2$ (2) $a^3b + a^2b^2 + a^2bc$

本文に戻れるように、
対応する例・例題の
参照ページや番号を
示しました。 …②

24ページ 例21

10 次の式を因数分解しなさい。

- (1) $x^2 - 1$ (2) $a^2 - 16$ (3) $9x^2 - 4$

25ページ 例22

11 次の式を因数分解しなさい。

- (1) $x^2 + 8x + 7$ (2) $x^2 - 2x - 3$
 (3) $x^2 - 8x + 12$ (4) $x^2 + 4x - 12$
 (5) $a^2 + 9a + 20$ (6) $x^2 + 4xy - 21y^2$

26ページ 例23

12 次の式を因数分解しなさい。

- (1) $3x^2 - 2x - 1$ (2) $5x^2 + 7x + 2$
 (3) $3x^2 - 22x + 7$ (4) $2x^2 + x - 6$
 (5) $6x^2 - 19x + 10$ (6) $2x^2 + 15xy - 8y^2$

まとめの因数分解

例19~23

13 次の式を因数分解しなさい。

- (1) $4x^2 + 28x + 49$ (2) $x^2 + x - 20$
 (3) $x^2y + xy^2$ (4) $2x^2 + x - 3$
 (5) $x^2 - 4y^2$ (6) $x^2 + xy - 2y^2$
 (7) $6x^3 + 9x^2 - 3ax$ (8) $4x^2 - 20x + 9$
 (9) $a^2 - 12a + 36$ (10) $3x^2 + 8xy + 4y^2$

「まとめの問題」は、小問を本文の登場順ではなくランダムに配置して、定着度をチェックできるようにしています。 …②



確認問題は、原則 節末に
収録しました。 …②

確認問題

平方根の計算



ふりかえろう!

31ページ 例26

14 次の計算をしなさい。

- (1) $\sqrt{5} \times \sqrt{35}$ (2) $3\sqrt{3} \times 10\sqrt{5}$

31ページ 例27

15 次の計算をしなさい。

- (1) $3\sqrt{5} + 4\sqrt{5}$ (2) $\sqrt{18} - \sqrt{72}$
 (3) $2\sqrt{6} - 5\sqrt{6} + 3\sqrt{6}$ (4) $\sqrt{3} - \sqrt{12} + \sqrt{75}$

32ページ 例題6

16 次の計算をしなさい。

- (1) $(2 - \sqrt{5})(1 + 3\sqrt{5})$ (2) $(\sqrt{5} - \sqrt{2})^2$
 (3) $(\sqrt{7} - 2)(\sqrt{7} + 2)$ (4) $(\sqrt{2} - 2\sqrt{3})(\sqrt{6} + 1)$

33ページ 例題7

17 次の数の分母を有理化しなさい。

- (1) $\frac{1}{\sqrt{7} + \sqrt{2}}$ (2) $\frac{1}{\sqrt{6} - 2}$
 (3) $\frac{4}{3 + \sqrt{5}}$ (4) $\frac{6}{2\sqrt{2} - \sqrt{6}}$

コラム

COLUMN

円周率と分数

円周率 $\pi = 3.14159265\cdots$ の値に近くなる分数として、

$$\frac{22}{7} = 3.142\cdots$$

小数第2位まで同じ

$$\frac{355}{113} = 3.1415929\cdots$$

小数第6位まで同じ



などが知られています。 $\frac{355}{113}$ は中国の数学者祖冲之が

5世紀に発見したといわれています。

円周率について、インターネットを使って調べてみましょう。

「円周率の日」でも

検索してみましょう。

「円周率の日」を調べるような問いかけをしました。また、遊び心のある「πのパイ」の写真を掲載しました。 …②

NEW!
章ごとに色分けしたツメ見出しを設け、
検索性を高めました。
⋮
②

第2章

章の始めのページです。実生活の問題に役立つ数学を扱う章では、ここで具体的な問題を大きく取り上げました。…②

2次関数

第1節 ▶ 2次関数のグラフ

第2節 ▶ 2次関数の値の変化

NEW!

ガーデニングを始めようと思います。



NEW!

この章を学ぶために必要な復習問題などのコンテンツです。
(具体例は本冊子 p.36 参照) …③

専用 HP から関連情報にアクセスすることができる目印です。

たくさんの花を植えたいなあ。



この章で学ぶ公式や用語辞書を収めたコンテンツです。
(具体例は本冊子 p.36 参照) …③

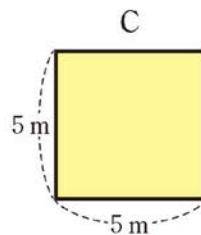
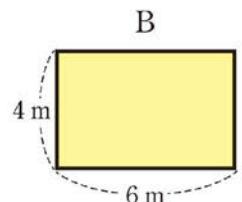
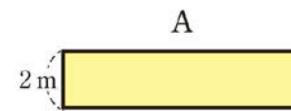
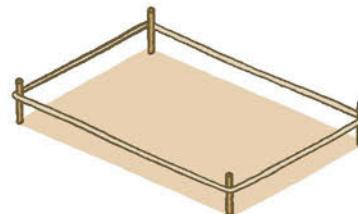
長さ 20 m のロープで庭に長方形の囲いを作ります。

囲いができるだけ広くするには、どのようにロープを使えばいいでしょうか。



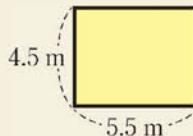
囲い方はいっぱいあるね。
次の A～C のうちだと
どれが 1 番広いかな。

写真、イラスト、図を駆使して、
理解しやすくなりました。…②



問題に挑戦する思考の過程を
生徒どうしの対話によって
示しました。…②

他にも



のような場合もあるから、最も広くなる
囲い方を見つけるのは大変かも……

「関数」の考え方を用いると、囲いが最も広くなる方法を見つけることができるようになります。

82 ページで学びます

イメージ

章始めて扱った内容は、章の中の例題などと連携しています。(本冊子 p.24 参照) …②

この章では、関数のグラフやその値について学びます。

これから学ぶことの全体像をイメージするため、
この章で学ぶ内容を紹介した動画です。
(具体例は本冊子 p.37 参照) …③

第2章の内容

第1節 ▶ 2次関数のグラフ

1 関数

1分間ジョギングをしたら、200 m 走ることができました。
同じペースで走り続けると、どれくらいの距離を走ることになるでしょうか。

$$2 \text{ 分間} \cdots \cdots 200 \times 2 = 400 \text{ (m)}$$

$$3 \text{ 分間} \cdots \cdots 200 \times 3 = \boxed{\quad} \text{ (m)}$$

$$10 \text{ 分間} \cdots \cdots 200 \times \boxed{\quad} = \boxed{\quad} \text{ (m)}$$

「ここで学ぶこと」として、その項目で学ぶことを本文に入る前に記し、学習の見通しを立てやすくしました。 …②

ここで
学ぶこと

上の例では、走る時間が決まれば、走る距離が決まります。
ここでは、このように「ある値が決まれば他の値がただ1つ決まる関係」について学びます。

10

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

55

60

65

70

75

80

85

90

95

100

105

110

115

120

125

130

135

140

145

150

155

160

165

170

175

180

185

190

195

200

205

210

215

220

225

230

235

240

245

250

255

260

265

270

275

280

285

290

295

300

305

310

315

320

325

330

335

340

345

350

355

360

365

370

375

380

385

390

395

400

405

410

415

420

425

430

435

440

445

450

455

460

465

470

475

480

485

490

495

500

505

510

515

520

525

530

535

540

545

550

555

560

565

570

575

580

585

590

595

600

605

610

615

620

625

630

635

640

645

650

655

660

665

670

675

680

685

690

695

700

705

710

715

720

725

730

735

740

745

750

755

760

765

770

775

780

785

790

795

800

805

810

815

820

825

830

835

840

845

850

855

860

865

870

875

880

885

890

895

900

905

910

915

920

925

930

935

940

945

950

955

960

965

970

975

980

985

990

995

1000

復

練習
1

日常

- (1) 1秒間に15 m 水平飛行するドローンがあります。
このドローンが x 秒間水平飛行したときの飛行距離を y m とするとき、 y を x の式で表しなさい。



- ↑ 1秒間に15 m の水平飛行とは、秒速15 m の水平飛行ということです。
- (2) 遊園地で、1個500円のおみやげを x 個と、それらをまとめて入れる400円の袋を1個買ったときの代金を y 円とします。
このとき、 y を x の式で表しなさい。



日常生活に関連する問題には、なるべく写真を添えるようにして、興味を引くようにしました。 …②

10

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

55

60

65

70

75

80

85

90

95

100

105

110

115

120

125

130

135

140

145

150

155

160

165

170

175

180

185

190

195

200

205

210

215

220

225

230

235

240

245

250

255

260

265

270

275

280

285

習得が必須の平方完成は、4 ページにわたり、段階的かつ丁寧に説明しました。…②

$$\begin{aligned}x^2 - 10x &= x^2 - 2 \times 5x \\&= (x-5)^2 - 5^2\end{aligned}$$

次の空らんにあてはまる数を入れなさい。

$$\begin{aligned}x^2 + 10x &= x^2 + 2 \times 5x \\&= (x + \square)^2 - \square^2\end{aligned}$$

次の式を $(x-p)^2 - p^2$ の形にしなさい。

- (1) $x^2 - 8x$ (2) $x^2 + 4x$

$y = x^2 + bx + c$ の変形

きめ細かい補足や注意によって、確かな技能が身につきます。…②

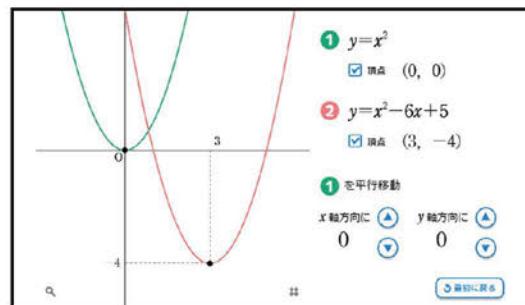
→ $x^2 - 2px = (x-p)^2 - p^2$ の変形を使うと、
 $y = x^2 - 6x + 5$ は、次のように変形できます。

例 6 [$y = x^2 + bx + c$ の変形]

$y = x^2 - 6x + 5$ を $y = (x-\square)^2 + \square$ の形にします。

$$\begin{aligned}y &= x^2 - 6x + 5 \\&= x^2 - 2 \times 3x + 5 \\&= (x-3)^2 - 3^2 + 5 \\&= (x-3)^2 - 4\end{aligned}$$

→ よって、 $y = x^2 - 6x + 5$ は $y = (x-3)^2 - 4$ であり、このグラフは、 $y = x^2$ のグラフを x 軸方向に 3、 y 軸方向に -4



Link
考察

NEW!
放物線の平行移動に関する
考察コンテンツです。…③

$$\begin{array}{c} \text{半分} \\ \xrightarrow{x^2 - 10x = (x-5)^2 - 5^2} \\ \text{2乗} \\ \text{をひく} \end{array}$$

$$x^2 + 2px = (x+p)^2 - p^2$$

2乗をひきます。
符号を誤って + としない
よう注意しましょう。

Link
補充

次の空らんにあてはまる数を入れなさい。

$$\begin{aligned}y &= x^2 + 8x + 5 \\&= x^2 + 2 \times 4x + 5 \\&= (x + \square)^2 - \square^2 + 5 \\&= (x + \square)^2 - \square\end{aligned}$$

最初は穴埋め問題によって、
平方完成の仕組みを理解する
ことから始めています。…②

練習

18

次の2次関数を $y = (x-p)^2 + q$ の形にしなさい。

- (1) $y = x^2 - 4x - 6$ (2) $y = x^2 + 12x + 1$
(3) $y = x^2 - 2x - 3$ (4) $y = x^2 + 6x + 10$

もっと練習しよう！

76 ページ 確認問題 4

Link

補充

$y = ax^2 + bx + c$ の変形

平方完成の手順を式と文章の両方で
説明しています。…②

例 7

[$y = ax^2 + bx + c$ ($a > 0$) の変形]

$$\begin{aligned}y &= 2x^2 - 12x + 10 \text{ を} \\&= a(x-p)^2 + q \text{ の形にします。} \\y &= 2x^2 - 12x + 10 \\&= 2(x^2 - 6x) + 10 \quad \text{①} \\&= 2((x-3)^2 - 3^2) + 10 \quad \text{②} \\&= 2(x-3)^2 - 2 \times 3^2 + 10 \quad \text{③} \\&= 2(x-3)^2 - 8 \quad \text{④}\end{aligned}$$

- ① $2x^2 - 12x$ を x^2 の係数 2 でくくる。
② () の中の $x^2 - 6x$ について、
 $x^2 - 2px = (x-p)^2 - p^2$ を利用する。
③ { } をはずす。
④ $a(x-p)^2 + q$ の形に整理する。

③ で、 -3^2 にも 2 をかける
ことを忘れないように注意
しましょう。

$$2((x-3)^2 - 3^2) + 10$$

練習

20

次の空らんにあてはまる数を入れなさい。

$$\begin{aligned}y &= 2x^2 + 16x - 3 \\&= 2(x^2 + 8x) - 3 \\&= 2((x+\square)^2 - \square^2) - 3 \\&= 2(x+\square)^2 - 2 \times \square^2 - 3 \\&= 2(x+\square)^2 - \square\end{aligned}$$



適宜、先生や生徒が登場し、内容を
補足してくれます。…②

練習

21

次の2次関数を $y = a(x-p)^2 + q$ の形にしなさい。

- (1) $y = 2x^2 - 4x$ (2) $y = 3x^2 + 6x + 5$
(3) $y = 4x^2 - 8x + 3$ (4) $y = 3x^2 + 12x - 4$

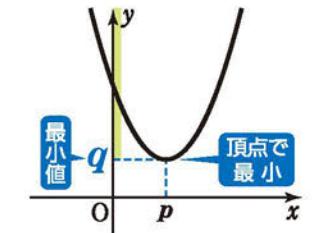
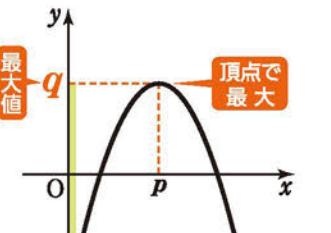
もっと練習しよう！
76 ページ 確認問題 5

Link
補充



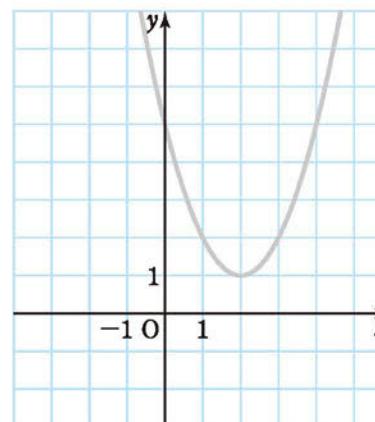
まとめの表を示して、学習内容を整理する場面を設けました。 …②

→ 2次関数 $y=a(x-p)^2+q$ の最大値、最小値は次のようにになります。

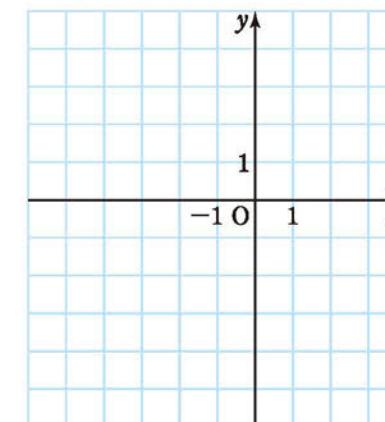
$a > 0$ のとき		$a < 0$ のとき	
グラフの例			
最大値	最大値はない	$x=p$ で最大値 q	
最小値	$x=p$ で最小値 q	最小値はない	

練習 次の2次関数のグラフをかいて、最大値、最小値を調べなさい。

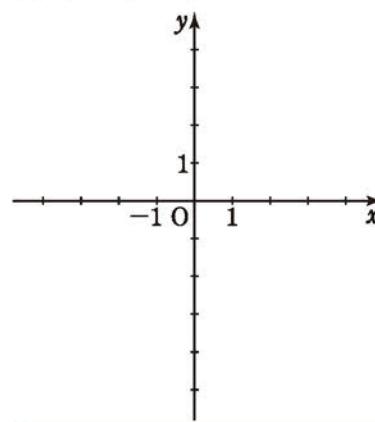
(1) $y=(x-2)^2+1$



(2) $y=-(x+3)^2+2$



(3) $y=2(x+1)^2-4$



グラフの一番上の点、一番下の点を調べるといいね。



もっと練習しよう！
92ページ確認問題1

最大値、最小値の問題では、グラフは大まかな図でよいので、これ以降は方眼をなくしました。 …②

例題

1

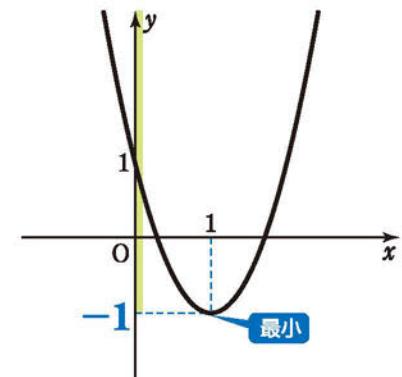
2次関数 $y=2x^2-4x+1$ の最大値、最小値を調べなさい。

解答

$$\begin{aligned}y &= 2x^2 - 4x + 1 \\&= 2(x^2 - 2x) + 1 \\&= 2\{(x-1)^2 - 1^2\} + 1 \\&= 2(x-1)^2 - 1\end{aligned}$$

したがって、 $y=2x^2-4x+1$ のグラフは右の図のようになる。

よって、 y の値は
 $x=1$ で最小値 -1 をとる。
最大値はない。 答



例題のポイント

2次関数の最大、最小は $y=a(x-p)^2+q$ の形にして、グラフをかけばわかります。

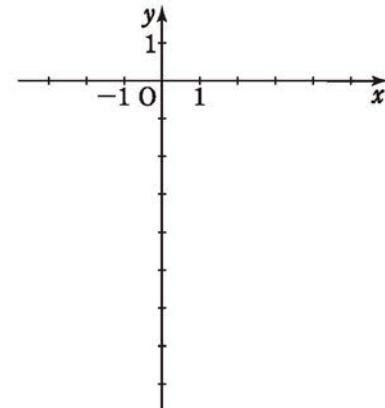
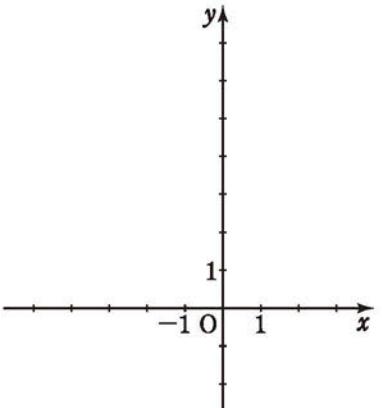
例題には、必要に応じて「例題のポイント」を設け、例題を解くときの要点や注意点を示しました。 …②

練習

2

(1) $y=2x^2+12x+20$

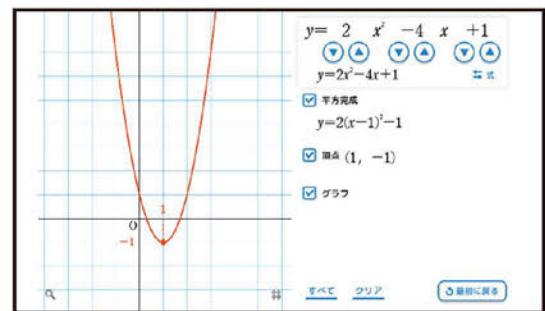
(2) $y=-x^2+4x-7$



もっと練習しよう！
92ページ確認問題2

Link
補充

NEW!
2次関数のグラフを表示し、最大値、最小値が確認できるコンテンツです。 …③



Link
»



2 次関数の利用

章始め(本冊子 p.17)で考えた内容を、実際に例題で学習して解決します。数学を学ぶ意義を実感できます。…②

例題

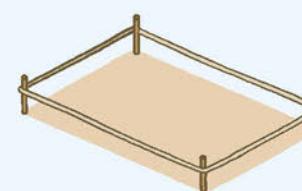
3

長さ 20 m のロープで長方形の囲いを作ります。



囲いの面積が最も大きくなるのは、どのような長方形のときでしょうか。

**Link
考察**



解答

長方形のたての長さとよこの長さの和は 10 m である。

よって、たての長さを x m とすると、よこの長さは $(10-x)$ m

たての長さ、よこの長さは正の数なので

$$x > 0 \text{かつ } 10-x > 0$$

$10-x > 0$ を解くと $x < 10$ であるから

$$0 < x < 10 \cdots \text{①} \quad \text{定義域です。}$$

囲いの面積を y m² とすると

$$y = x \times (10-x)$$

$$= -x^2 + 10x$$

$$= -(x-5)^2 + 25$$

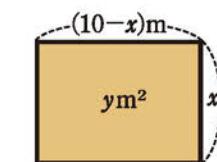
①において、 y の値は

$$x=5 \text{ で最大値 } 25$$

をとる。

$$x=5 \text{ のとき } 10-x=5$$

よって、1辺の長さが 5 m の正方形にすればよい。**答**



④ $10-x > 0$ から

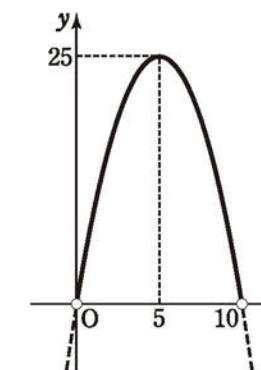
$$-x > -10$$

$$x < 10$$

$$\begin{aligned} y &= -x^2 + 10x \\ &= -(x^2 - 10x) \\ &= -\{(x-5)^2 - 5^2\} \\ &= -(x-5)^2 + 25 \end{aligned}$$

⑤ グラフの○は、その点が含まれないことを表しています。

⑥ このとき、囲いの面積は 25 m² となります。



2 次関数を利用して 57 ページの問題を解くことができたね。



練習

4

長さが 12 m のロープで、例題 3 のように長方形の囲いを作ります。囲いの面積が最も大きくなるのは、このときも正方形の囲いの場合かどうかを調べなさい。



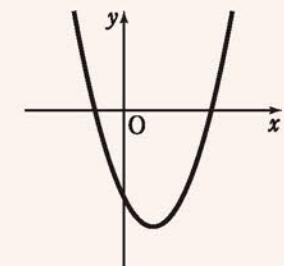
数研出版の公式キャラクター「数犬チャ太郎」が適所に登場します。…②

2 グラフと 2 次方程式

右の図で、放物線と x 軸との共有点は □ 個あります。

共有点の位置に ○ 印をつけてみましょう。

また、その共有点の y 座標は □ です。



ここで
学ぶこと

2 次関数のグラフと 2 次方程式の解の間にある関係について学びます。

まず、2 次方程式の解き方を復習しましょう。

復

2 次方程式の解き方

第1章で学んだ因数分解の計算が
ふりかえられます。…②

→ $x^2 + 3x - 10 = 0$, $x^2 - 6x + 9 = 0$ のように、 x の 2 次式で表された方程式を、 x の **2 次方程式** といいます。因数分解を利用して、2 次方程式を解きましょう。

ふりかえり
因数分解
▶ 23~25 ページ

例 3

[2 次方程式を解く(因数分解)]

(1) $x^2 + 3x - 10 = 0$ を解きます。

左辺 $x^2 + 3x - 10$ を因数分解すると

$$(x+5)(x-2) = 0$$

よって $x+5=0$ または $x-2=$

したがって、解は $x=-5, 2$

(2) $x^2 - 6x + 9 = 0$ を解きます。

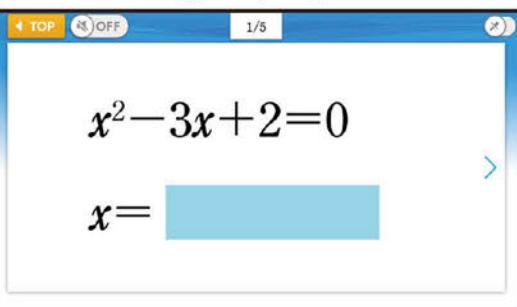
左辺 $x^2 - 6x + 9$ を因数分解すると

$$(x-3)^2 = 0$$

よって $x-3=0$

したがって、解は $x=3$

$$x^2 + (a+b)x + ab$$



既習事項も補充コンテンツで
復習できます。…③

練習

5

次の 2 次方程式を解きなさい。

$$(1) (x+6)(x-3)=0 \quad (2) x^2 + 7x + 6 = 0$$

$$(3) x^2 + 2x - 35 = 0 \quad (4) x^2 - 10x = 0$$

練習

6

次の 2 次方程式を解きなさい。

$$(1) x^2 - 4x + 4 = 0 \quad (2) x^2 + 10x + 25 = 0$$

もっと練習しよう！
92 ページ 確認問題 4

**Link
補充**



章末のやや難しい問題にはすべてヒントが設けてあり、無理なく取り組むことができます。…②

問題A

- 1 次の2次関数のグラフの軸と頂点を求め、そのグラフをかきなさい。

$$(1) \ y = \frac{1}{2}x^2 - x - 1 \quad (2) \ y = -x^2 - x$$

- 2 2次関数 $y = -2x^2 + 5$ の定義域が次の範囲であるとき、それぞれの場合の最大値、最小値を調べなさい。

- (1) $-2 \leq x \leq -1$ (2) $-2 \leq x \leq 1$
 (3) $-1 \leq x \leq 2$ (4) $1 \leq x \leq 2$

- 3 次の2次不等式を解きなさい。

$$(1) \ x^2 \leq 2x + 15 \quad (2) \ -x^2 < 7 - 8x$$

問題B

- 4 2次関数 $y = (x-2)^2 - 3$ のグラフは、 $y = (x-1)^2 + 2$ のグラフをどのように平行移動した放物線ですか。

- 5 長さが8mの金あみを折り曲げてかべにつけて、長方形の囲いを作ります。

囲いの面積を最大にするには、かべに垂直な部分の長さを何mにすればよいですか。

章末問題でも、日常生活に関連する問題を充実しました。…②

- 6 地上でボールを真上に秒速30mで投げ上げるとき、 x 秒後のボールの高さ y mが

$$y = -5x^2 + 30x \quad (0 \leq x \leq 6)$$

で表されるとします。ボールが40m以上の高さにあるのは、ボールを投げ上げてから何秒後から何秒後までですか。



1 (2) $-x^2 - x$
 $= -(x^2 + x)$
 $= -\left(x^2 + 2 \times \frac{1}{2}x\right)$

- 2 まず、定義域に制限がないときの $y = -2x^2 + 5$ のグラフをかきます。

- 3 まず、左辺にすべての項を集めます。

- 4 頂点がどのように移動しているかに注目します。

- 5 かべに垂直な部分の長さを x mとして、面積を x の式で表します。

- 6 2次不等式を利用します。

Hint

放物線の性質が実生活で役に立っている具体例を紹介しました。キャリア教育につながります。…②

コラム

COLUMN

パラボラ＝放物線



BS放送やCS放送など、人工衛星からの電波を受信するためのアンテナは、パラボラアンテナとよばれ、わたしたちの身のまわりでもよく見かけます。



国立天文台野辺山(長野県)



数学を体験できる面白い教具の話題と写真を掲載しました。
:(2)

Link
イメージ

パラボラアンテナの曲面は、放物線をその軸のまわりに回転させてえられた曲面で、「パラボラ」は「放物線」を意味している英語です。この曲面には、軸に平行に入射した光や電波を、ある1点に集中させるという性質があり、その点のことを焦点といいます。

右上の写真は、その原理を利用して作った「ソーラー芋やき器」です。芋のある位置が焦点で、この芋やき器を太陽の方向に向けると、短い時間で芋がやきあがります。

逆に、パラボラアンテナの曲面は、焦点から発射した光や電波を、軸に平行に反射するという性質もあります。



この原理は車のヘッドライトや懐中電灯などに応用され、遠くまで光を照らすのに役立っています。

懐中電灯と絡めて、防災グッズを紹介しました。
防災教育につながります。…②



課題学習 ③

数学 I では、その章で学んだことを使ってやや複雑な日常の問題を解決する課題を、章末に「課題学習」として扱いました。…②

課題学習のページは、教科書にそのまま書き込めるワークシート形式になっています。…②

校舎の高さをはかるう



校舎の屋上に上がらずに、校舎の高さをはかりましょう。
どのようにすればよいでしょうか。



予想しよう

校舎の高さはどれくらいでしょうか。予想してみましょう。

予想! m

校舎は何階建てかな?



三角比を使って、校舎の高さを求めてみましょう。

考え方

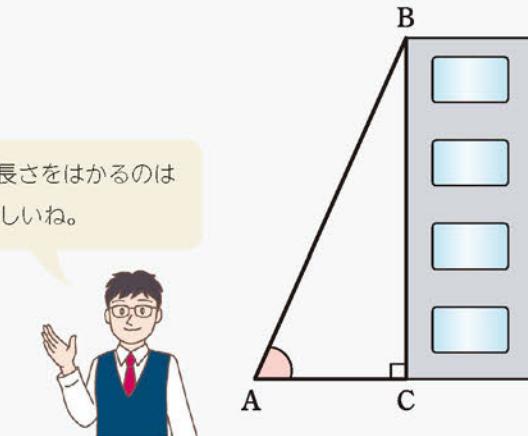
右の図で、校舎の高さは BC です。
角 A の三角比は、次のように表されます。

$$\sin A = \frac{\square}{AB}$$

AB の長さをはかるのは
むずかしいね。

$$\cos A = \frac{\square}{AB}$$

$$\tan A = \frac{\square}{\square}$$



よって、BC を求めるには、

サイン コサイン タンジェント

正しいものを○で囲みましょう。

を使えばよいことがわかります。

したがって、校舎の高さ BC は、三角比を使って次のように表すことができます。

$$BC = \square \times \square A$$

上で選んだ三角比を、記号で入れましょう。

考えよう から、次のことがわかります。

校舎の高さ BC を求めるには、図の AC と、校舎を見上げる角 A をはかればよい。

ここでは、巻末の付録を使って、
実践的な活動ができます。…②

まず、巻末の「付録 ②」にある「角度測定器」を、「作り方」のとおりに作ってみましょう。

適当な位置 A を決めて、校舎を見上げる角 A を次のようにしてはかります。

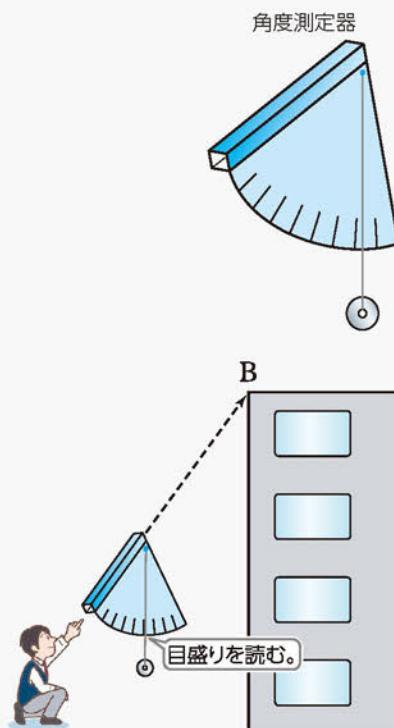
- ① 正方形の穴を、色の濃い方からのぞき、穴の真ん中に校舎の頂上 B が見えるように、「角度測定器」の角度を調節する。
- ② 糸が重なるところの目盛りが、見上げる角 A となる。

はかった結果を書きましょう。

AC が m の地点から見上げる角 A は

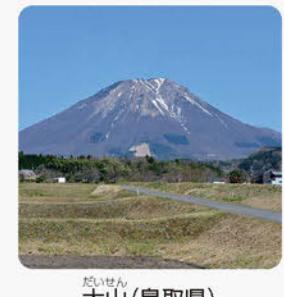
$$A = \square^\circ$$

したがって、校舎の高さは m



← A の三角比の値は、三角比の表を利用して求めます。

NEW! 改訂版では、写真が増えました。…②



だいせん
大山(鳥取県)

比べてみよう

実際の高さや、他の人が求めた結果と比べましょう。

学んだ内容を広げる問いかけによって、興味・関心が引き出されます。…②

- ・高さを求める他の方法はないでしょうか。
- ・山の高さを求めようとすると、頂上の真下の位置がよくわからないので、前ページの AC の長さをはかることができません。このようなときは、どのようにして高さを求めればよいでしょうか。

1 データの整理

下の表は、ある年の全国高校駅伝大会の女子都道府県代表校の成績です。

都道府県 の成績は

分 秒 です。

またはそれは、全体の中で

(はやい方・真ん中あたり・遅い方)

です。○をつけましょう。

ここで
学ぶこと

データを分析するには、まずデータを整理することが必要です。
表やグラフを使って整理する方法を復習します。



都道府県を選んでその記録をかこう。

5

10

復 → 次のデータは、ある年の全国高校駅伝大会の女子都道府県代表校の成績です。

都道府県	記録	都道府県	記録	都道府県	記録
北海道	72分08秒	長野	67分37秒	岡山	69分34秒
青森	70分43秒	富山	73分36秒	広島	70分53秒
岩手	73分23秒	石川	81分17秒	山口	72分09秒
宮城	67分51秒	福井	70分53秒	香川	77分11秒
秋田	76分29秒	静岡	73分18秒	徳島	77分51秒
山形	74分57秒	愛知	71分20秒	愛媛	73分57秒
福島	70分04秒	三重	76分11秒	高知	70分06秒
茨城	71分31秒	岐阜	73分46秒	福岡	69分18秒
栃木	72分30秒	滋賀	72分37秒	佐賀	73分08秒
群馬	74分47秒	京都	68分12秒	長崎	70分13秒
埼玉	70分49秒	大阪	68分42秒	大分	71分57秒
千葉	70分39秒	兵庫	71分23秒	熊本	71分00秒
東京	69分43秒	奈良	74分04秒	宮崎	71分41秒
神奈川	68分32秒	和歌山	75分33秒	鹿児島	68分03秒
山梨	75分14秒	鳥取	75分24秒	沖縄	74分18秒
新潟	73分58秒	島根	73分06秒		

全国高校駅伝ホームページより作成

30

この表を見るだけでは、データの傾向はよくわかりません。

データを整理してわかりやすく表すことを考えましょう。

152

以降のページでも同じデータを一貫して使い、「何のために分析を行うのか」といった学習の意義を実感しやすい流れになっています。…②

興味がもてるように、高校駅伝の実際のデータを使いました。…②

復

度数分布表

既習の内容でも、この章で必要な用語はしっかりと説明しています。…②

前ページのデータの値を、幅が1分の区間に分けて表にまとめると、下のようになります。

このとき、各区間を **階級** といい、各階級に含まれる

値の個数を **度数** といいます。

また、階級の真ん中の値を **階級値** といいます。

区間に分けてまとめる
ことで、傾向がわかり
やすくなります。



階級	階級値(分)	度数(チーム)
67分30秒以上	68分30秒未満	68
68分30秒	~69分30秒	69
69分30秒	~70分30秒	70
70分30秒	~71分30秒	71
71分30秒	~72分30秒	72
72分30秒	~73分30秒	73
73分30秒	~74分30秒	74
74分30秒	~75分30秒	75
75分30秒	~76分30秒	76
76分30秒	~77分30秒	77
77分30秒	~78分30秒	78
78分30秒	~79分30秒	79
79分30秒	~80分30秒	80
80分30秒	~81分30秒	81
計		47

練習

1

上のようにデータを整理するとき、山梨の記録、新潟の記録の階級値をそれぞれ答えなさい。

→ 上のような表を **度数分布表** といいます。

度数分布表をかけば、データの分布の様子がわかりやすくなります。

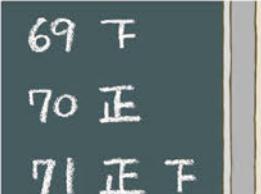
ここからは、各都道府県の記録を、上の度数分布表の階級値を使って考えることにします。

データが扱いやすい整数値になるように、階級値を使って考えています。…②

← 「～未満」とは「～よりはやい」ということです。

← 階級値が整数になるように、階級を
○分30秒～●分30秒のようにしています。

← 「正」の字を書いて数えると確実です。



たとえば、大阪の記録68分42秒は、68分30秒～69分30秒の階級に含まれ、階級値は69分になるね。



5 仮説検定の考え方

コインを 20 枚用意してください。

それらのコインを一度に投げて、表が何枚出るか調べてみましょう。

5

枚



ここで 学ぶこと

あることがらの推測が妥当であるかどうかを、統計資料をもとに、起こりやすさから判断する方法があります。

ここでは、その方法を学びます。

親しみをもって取り組めるよう、スイーツ店でショートケーキの味が改良できたかを判定する身近な話題を扱いました。…②

あるスイーツ店がショートケーキの味を改良しています。店を訪れた客から 20 人をかたよりなく選び、試食してもらいました。その結果、20 人中 15 人がおいしくなったと回答しました。この回答のデータから、

① ショートケーキはおいしくなったと感じる人の方が多い。

と判断してよいでしょうか。

もとの推測とそれに反する仮説を、わかりやすく色分けしました。…②



このことを判断するのに、①に反する次のような仮説を考えます。

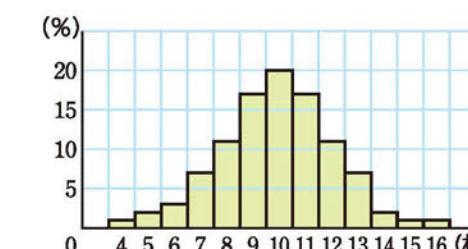
② おいしくなったと回答する場合と、そうでない場合が半々の割合で起こる。

コインの表が出ることも半々の割合で起こることが見込まれます。

この仮説は、公正なコインを投げて、表が出るかどうかを調べる実験にあてはめることができます。20 枚の公正なコインを投げるとき、表が出た枚数を記録します。この実験を 100 回くり返したところ、次の結果になりました。

表の枚数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	計
度数	1	2	3	7	11	17	20	17	11	7	2	1	1	100

度数を % に換算しました。



NEW! グラフを追加して、イメージがわくようにしました。…②

→ この結果から、15 枚以上表が出たのは、100 回のうち $1+1=2$ (回)

で、全体に対する割合は $\frac{2}{100}=0.02$ になります。

つまり、②の仮説のもとでは、15 人以上が「おいしくなった」と回答する確率はわずか 0.02 であり、めったに起こらないことがわかります。

このように、確率が小さいことが起こったということは、②の仮説に無理があったと考えるのが自然です。

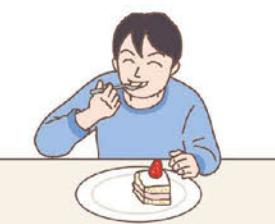
よって、①は妥当である、つまり、ショートケーキはおいしくなったと感じる人が多いと判断できます。

→ えられたデータをもとに、あることがらが妥当であるかどうかを判断する方法を **仮説検定** といいます。

上では 0.02 を「確率が小さい」ことの基準としましたが、仮説検定ではこの基準を先に決めておき、それより小さければ「確率が小さい」と判断します。

この基準は、0.05 や 0.01 とすることがよくあります。

コイン投げの結果を利用して仮説検定を行うことを、丁寧かつ平易なことばで説明しました。…②



← 「確率が小さい」場合、めったに起こりません。

NEW!

前ページのグラフの該当部分に色をつける作業をすることで、確率の程度を実感してもらうことができます。…②

例 11

【仮説検定の考え方】

この試食で、20 人中 13 人が「おいしくなった」と回答したとします。

このとき、①が妥当であると判断できるかどうか、確率が小さいことの基準を 0.05 として調べてみましょう。コイン投げの実験結果より、13 枚以上表が出る場合は

$$7+2+1+1=11 \text{ (回)}$$

よって、全体に対する割合は $\frac{11}{100}=0.11$

これは 0.05 より大きいため、②の仮説を否定できません。したがって、おいしくなったと感じる人が多いとは判断できません。

①が妥当であるとは判断できません。

練習 13

この試食で、20 人中 14 人が「おいしくなった」と回答したとします。

このとき、①が妥当であると判断できるかどうか、確率が小さいことの基準を 0.05 として調べなさい。

← コイン投げの実験結果を利用します。

ふりかえり

数学Iでは、本文で扱えなかった「ふりかえり」の内容を巻末にまとめて掲載しました。例えば、「最小公倍数」を説明するのに「公倍数」の説明から始めています。…②

●公倍数

3と4の共通な倍数を、3と4の **公倍数** といいます。

3の倍数を並べると

3, 6, 9, **12**, 15, 18, 21, **24**,
27, 30, 33, **36**, 39, ……

4の倍数を並べると

4, 8, **12**, 16, 20, **24**, 28, 32,
36, 40, ……

よって、3と4の公倍数は

12, 24, 36, …… となります。

●最小公倍数

公倍数のうちで、最も小さい数を、**最小公倍数** といいます。

3と4の最小公倍数は12です。

●素数

自然数30は、 $30=6\times 5$ のように、30よりも小さい自然数の積の形で表すことができます。

2以上の自然数で、その数よりも小さい自然数の積で表すことができないものを**素数** といいます。

素数を小さい順にかくと

2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23,
29, 31, 37, 41, 43, 47, 53, ……
となります。

●素因数

整数をいくつかの整数の積で表したとき、積をつくりている1つ1つを、もとの数の**因数** といいます。

たとえば、 $30=6\times 5$ ので、6と5は30の因数です。

素数である因数を**素因数** といいます。

5は素数で30の因数なので、素因数です。

この内容が必要な本文のページには、ふりかえりマークが付いています。…②

●相似

2つの図形の一方を拡大または縮小した图形が、もう一方とぴったりと重なるとき、2つの図形は**相似** であるといいます。

●相似な图形の性質

[1] 対応する線分の長さの比は、すべて等しい。

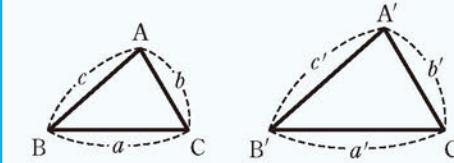
[2] 対応する角の大きさは、それぞれ等しい。

●三角形の相似条件

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき、相似である。

[1] **3組の辺の比** がすべて等しい。

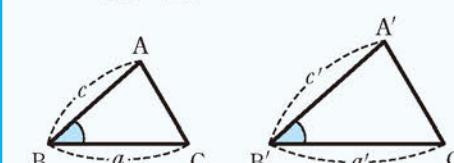
$$a : a' = b : b' = c : c'$$



[2] **2組の辺の比とその間の角** がそれぞれ等しい。

$$a : a' = c : c'$$

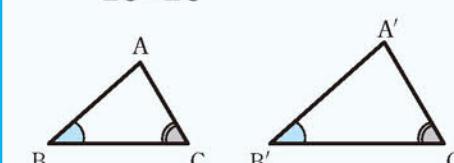
$$\angle B = \angle B'$$



[3] **2組の角** がそれぞれ等しい。

$$\angle B = \angle B'$$

$$\angle C = \angle C'$$



●比例式の性質

$a : b = c : d$ が成り立つとき

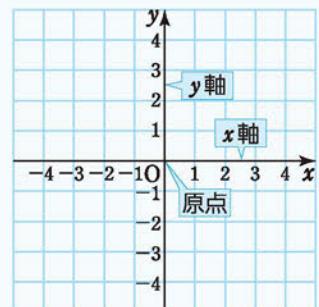
$$ad = bc$$

が成り立ちます。

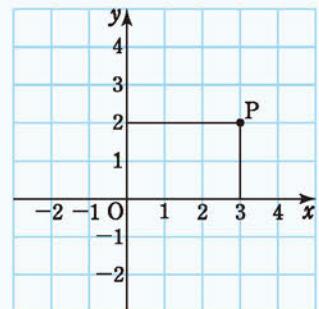
NEW!

●座標

下の図のように、点Oで垂直に交わる2つの直線について、
よこの数直線を**x軸**、
たての数直線を**y軸**、
x軸と**y軸**をまとめて**座標軸**、
座標軸の交点Oを**原点**
といいます。



下の図の点Pの位置を(3, 2)で表します。このとき、
3を点Pの**x座標**、
2を点Pの**y座標**、
(3, 2)を点Pの**座標**
といいます。



●四捨五入 NEW!

指定されたけたの数字が4以下の場合に切り捨てて、5以上の場合に切り上げることを**四捨五入** といいます。

たとえば、1.29を小数第1位で四捨五入すると1、小数第2位で四捨五入すると1.3です。

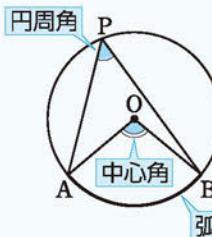
NEW! 新たに、「比例式の性質」「四捨五入」を加えました。…②

●中心角と円周角

円周の一部を**弧** といいます。
円周上の2点A, Bを両端とする弧を**弧AB** といい、**AB**と表します。

円Oにおいて、 $\angle AOB$ を**AB**に対する**中心角** といいます。

また、**AB**を除いた円周上に点Pをとると、 $\angle APB$ を**AB**に対する**円周角** といいます。



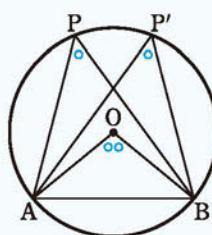
●円周角の定理

[1] 1つの弧に対する円周角の大きさは、その弧に対する中心角の大きさの半分である。

$$\angle APB = \frac{1}{2} \angle AOB$$

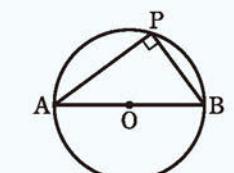
[2] 同じ弧に対する円周角の大きさは等しい。

$$\angle APB = \angle AP'B$$



[1] の特別な場合として、次のことが成り立ちます。

半円の弧に対する円周角の大きさは 90° である。



第1章

数学Iと同様に、章始めはその章で学習する内容と関係があり、数学を学ぶ意義を感じられるような題材を選びました。…②

場合の数と確率

第1節 ▶ 場合の数

第2節 ▶ 確率

わたしたちの身のまわりには、いろいろなくじがあります。



NEW!

■ 第1章 <場合の数と確率> を学習する前に

1 紙幣がA, B, C, D, Eの5種類、消しゴムがW, X, Y, Zの4種類あります。
この中から紙幣、消しゴムを1種類ずつ選ぶとき、選び方は何通りあるか、すべての場合をかき並べて求めなさい。

2 下の表は、1枚のコインを投げて、表が出た回数とその割合を示したもの。
この表について、次の問い合わせなさい。

この章を学ぶために必要な復習問題などのコンテンツです。…③

第1章を学習する前に

ここでふりかえろう！ → 12ページ <場合の数>

xが集合Aの要素であることを $x \in A$
yが集合Aの要素でないことを $y \notin A$ と表す。

15の正の約数全体の集合Bは
 $B = \{x \mid x \text{ は } 15 \text{ の正の約数}\}$ または
 $B = \{x \mid x \text{ は } 15 \text{ の正の約数}\}$ と表す。

この章で学ぶ公式や用語辞書を収めたコンテンツです。…③

第1章の公式集・用語辞書

15枚中4枚が当たりのくじを、
2人が1枚ずつ順番に引きます。
ただし、2人めがくじを引くとき、
1人めが引いたくじはもとに
もどしません。



このくじを先に引くか後に引くか
選んでよいとき、有利不利を
予想してみましょう。



「残り物には福がある」というよ。
後に引く方が当たりやすいんじゃないかな。



問題に挑戦する思考の過程を
生徒どうしの対話によって
示しました。…②

でも、1人めが先に当たりを引いてしまうと、
2人めが引くときには当たりが減っているよ。



「先手必勝」ともいうから、
先に引く方が当たりやすいん
じゃないかな。



章始めで扱った内容は、章の中の練習
などと連携しています。
(本冊子 p.41 参照) …②

くじの当たりやすさやゲームの勝ちやすさなど、確率を考えれば判断できる
ことがらが身のまわりには数多くあります。



これから学ぶことの全体像をイメージするための、
この章で学ぶ内容を紹介した動画です。…③

49ページで学びます

について学びます。▶▶

第1章の内容

5 組合せ

親しみやすいイラストによって、問題のイメージがつかみやすいやうにしています。 …②

4種類のケーキ a, b, c, d から、好きなものを3種類選んで皿に取ります。

Xさんは、a, b, c の順に取りました。

Yさんは、a, b, d の順に取りました。

Zさんは、c, a, b の順に取りました。

皿に取ったケーキの種類がすべて同じなのは

□さんと□さんです。



ここで学ぶこと

いくつかのものを選んで組をつくるときの場合の数について考えます。
選んだ順序は考えなくてよいことがポイントです。

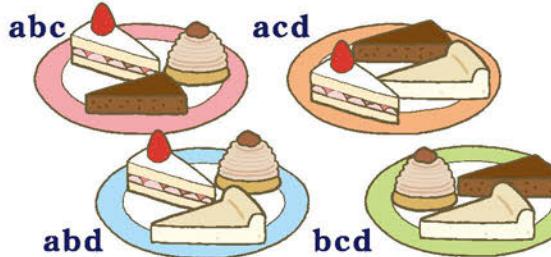
数学を身近に感じてもらえるように、日常生活に関連した題材を多く扱い、マークを付けています。 …②

例 15



組合せ

4個の異なるケーキ a, b, c, d から、3個を選んで皿に取るとき、選び方は何通りあるでしょうか。



順序は考えないから、たとえば「cab」は「abc」と同じなんだね。



a	b	c	d	
○	○	○	—	→ abc
○	○	—	○	→ abd
○	—	○	○	→ acd
—	○	○	○	→ bcd

すべての場合をかき出すと、

abc abd acd bcd

の4通りです。

→ n 個の異なるものから r 個を取り出してできる組を
「 n 個から r 個取った組合せ」
といい、その総数を ${}_nC_r$ で表します。

n 個から r 個取った組合せ
の総数 ${}_nC_r$

${}_nC_r$ の C は、「組合せ」という意味の英語

combination
の頭文字です。

例 15 は、4 個から 3 個取った組合せで、その総数は

$${}_4C_3 = 4$$

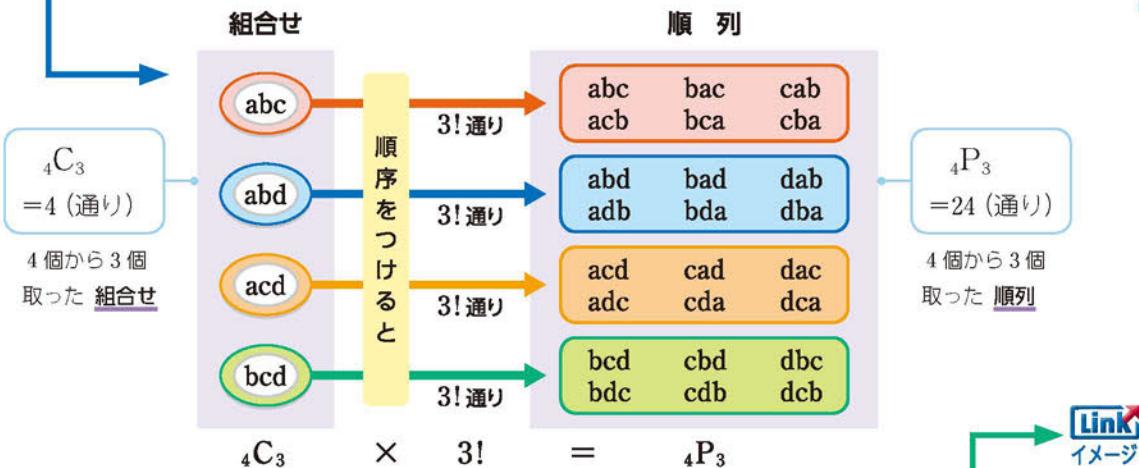
です。

記号の由来や語源を示すことで、知識の定着をうながします。 …②

組合せの考えでは、大きめの図版を使用して順列と比較しながら丁寧に説明し、理解しやすいようにしました。 …②

よって、 ${}_4C_3 \times 3! = {}_4P_3$ が成り立ちます。

3 個のケーキを皿に取った順に並べると考えて
 ${}_3P_3 = 3!$ (通り)



→ 一般に、 ${}_nC_r \times r! = {}_nP_r$ が成り立ちます。

よって、組合せの総数は次のようにして求められます。

順列と組合せの関係を確認できるコンテンツです。 …③

組合せの総数

n 個から r 個取った組合せの総数は

$${}_nC_r = \frac{{}_nP_r}{r!} = \frac{n(n-1)(n-2)\dots(n-r+1)}{r(r-1)(r-2)\times\dots\times3\times2\times1}$$

2. 取り出した3個を1列に並べる	
{a, b, c}	{a, b, d}
abc bac cab 3!通り	abd bad dab 3!通り
{a, c, d}	{b, c, d}
acd cad dac 3!通り	bcd cbd dbc 3!通り

↑ ${}_nC_r$ は、 $\frac{n}{r}$ から 1 ずつ減る r 個の自然数の積
 $\frac{n}{r}$ から 1 ずつ減る r 個の自然数の積 で求められます。

式の内容を、ことばを用いて表すことで、理解が深まるようになりました。 …②

7 個から 3 個取った組合せの総数は

$${}_7C_3 = \frac{7 \times 6 \times 5}{3 \times 2 \times 1} = \frac{7 \times 6 \times 5}{1 \times 1} = 35$$

7 から 1 ずつ減る 3 個の積

$${}_7C_3 = \frac{7 \times 6 \times 5}{3 \times 2 \times 1}$$

3 から 1 ずつ減る 3 個の積

練習 次の値を求めなさい。

20

$$(1) {}_7C_2$$

$$(2) {}_6C_3$$

$$(3) {}_8C_4$$

$$(4) {}_5C_1$$

$$(5) {}_4C_4$$

もっと練習しよう！
30 ページ 確認問題11

補充

数学 I 同様、練習問題は豊富に用意しています。 …②



確率の乗法定理

→ 前ページの条件つき確率の公式

$$P_A(B) = \frac{\text{事象 } A \cap B \text{ の起こる場合の数}}{\text{事象 } A \text{ の起こる場合の数}}$$

について考えます。

起こりうるすべての場合の数を N ,
事象 A の起こる場合の数を a ,
事象 $A \cap B$ の起こる場合の数を b とします。

このとき, $P(A) = \frac{a}{N}$, $P_A(B) = \frac{b}{a}$ となります。

これらの式から

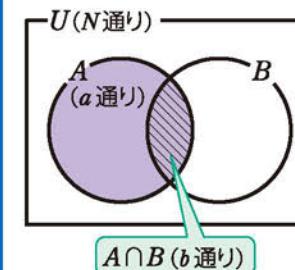
$$P(A) \times P_A(B) = \frac{a}{N} \times \frac{b}{a} = \frac{b}{N} \quad \text{です。}$$

$\frac{b}{N}$ は, $A \cap B$ の起こる確率 $P(A \cap B)$ であるから,
次の **確率の乗法定理** が成り立ちます。

確率の乗法定理

$$P(A \cap B) = P(A) \times P_A(B)$$

式の内容を, ことばを用いて表すことで, 理解が深まるようにしました。 …②



$= A \text{ が起こる} \times A \text{ が起こったとき } B \text{ が起こる}$

練習 20

前ページの例 8において, 上の確率の乗法定理が成り立っていることを, 次の文章を利用することで確かめなさい。

例 8において

$$P(A) = \frac{\square}{10} \quad \leftarrow \text{取り出した玉が白玉である確率}$$

$$P(A \cap B) = \frac{\square}{10} \quad \leftarrow \text{取り出した玉が白玉で, 番号が偶数である確率}$$

$$P_A(B) = \frac{3}{7} \quad \leftarrow \text{取り出した玉が白玉であるとき, 番号が偶数である確率}$$



① 玉を 1 個取り出す。

新しい概念など, 理解が難しい問題は適宜穴埋めにして, 考え方の流れをしっかり確認できるようにしました。 …②

→ 確率の乗法定理を利用して, いろいろな確率を求めましょう。

例題 7

10 本中 3 本が当たりのくじを, 2 人が 1 本ずつ順番に引きます。ただし, 1 人めが引いたくじはもともどさないといします。このとき, 2 人も当たりを引く確率を求めなさい。

解答

1 人めが当たる事象を A ,
2 人めが当たる事象を B とする。

$$\text{このとき } P(A) = \frac{3}{10}$$

また, 1 人めが当たりを引いたとき, 2 人めは 9 本中 2 本が当たりのくじを引くことになる。よって, 1 人めが当たりを引いたとき, 2 人めも当たりを引く条件つき確率は

$$P_A(B) = \frac{2}{9}$$

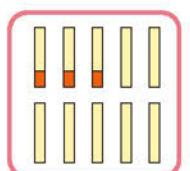
2 人も当たりを引く確率 $P(A \cap B)$ は, 確率の乗法定理から

$$P(A \cap B) = P(A) \times P_A(B) \\ = \frac{3}{10} \times \frac{2}{9} = \frac{1}{15}$$

例題の解答にも図を多く用いることで, 理解が深まるようにしました。 …②

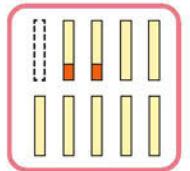
1 人め

$$\frac{3}{10}$$



1 人め
当たり

$$\frac{2}{9}$$



2 人め

例題のポイント

例題には, 必要に応じて「例題のポイント」を設け, 例題を解くときの要点や注意点を示しました。 …②

「2 人も当たる」事象は, 「1 人めが当たる」事象と「1 人めが当たったときに 2 人めも当たる」事象が繰り返して起こることになります。

練習 21

15 枚中 4 枚が当たりのくじを, 2 人が 1 枚ずつ順番に引きます。ただし, 1 人めが引いたくじはもともどさないといします。

このとき, 次の確率を求めなさい。

- (1) 1 人めが当たりを引き, 2 人めも当たりを引く確率
- (2) 1 人めがはずれを引き, 2 人めが当たりを引く確率
- (3) 2 人めが当たりを引く確率



もっと練習しよう!
54 ページ 確認問題 9

Link
補充

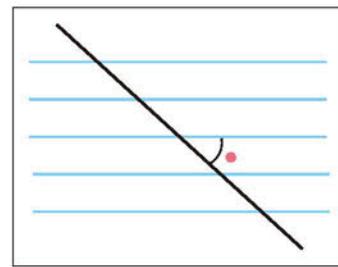
章始め(本冊子 p.37)で考えた内容を, 実際に練習で学習して解決します。数学を学ぶ意義を実感できます。 …②

Link >>



第1節 ▶ 平面図形

1 図形の基本

Link
資料

図形の基本性質をしっかり復習できるように、6ページにわたって丁寧に扱いました。…②

けいせん
ノートに、左のように1本の直線を引きました。
印と同じ大きさの角をさがして、図に●印をつけましょう。

ここで
学ぶこと

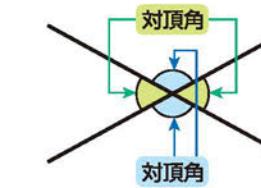
中学で学んだ図形の基本的な性質を復習します。

既習事項の復習の部分には復マークを付けています。…②

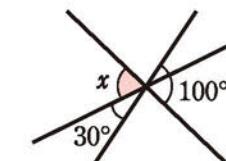
復 → 2直線が交わるとき、次の性質が成り立ちます。

性質1 対頂角

対頂角は等しい。

Link
考察

練習 1 右の図のように、3直線が1点で交わるとき、∠xの大きさを求めなさい。



→ また、次の性質も成り立ちます。

性質2 同位角、錯角

Link
考察

平行な2直線に1つの直線が交わるとき

[1] 同位角は等しい。 [2] 錯角は等しい。

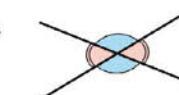
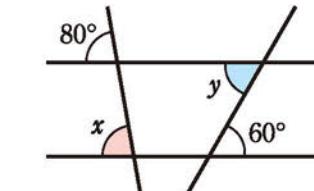


中学校までに学んだ平面図形の基本性質をまとめたコンテンツです。…③

中学校までに学んだ平面図形の基本性質

■対頂角

●対頂角は等しい

 ℓ と m は平行

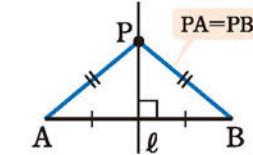
復

→ 線分の垂直二等分線、角の二等分線について、次の性質が成り立ちます。

性質3 垂直二等分線

Link
考察

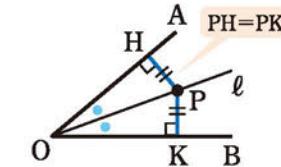
線分ABの垂直二等分線 ℓ 上の点は、2点A, Bから等しい距離にある。



性質4 角の二等分線

Link
考察

$\angle AOB$ の二等分線 ℓ 上の点は、2辺OA, OBから等しい距離にある。



三角形の角

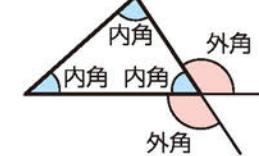
図形の性質は枠で囲んで見やすくしています。…②

→ 三角形の角について、次の性質が成り立ちます。

性質5 三角形の内角と外角

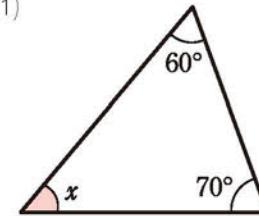
Link
イメージ

- [1] 三角形の3つの内角の和は 180° である。
- [2] 三角形の1つの外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい。

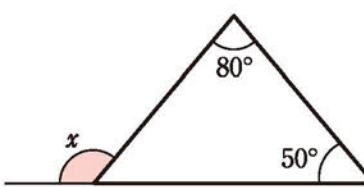


練習 3 次の図において、∠xの大きさを求めなさい。

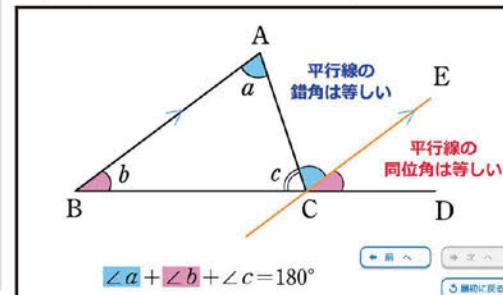
(1)



(2)

Link
補充

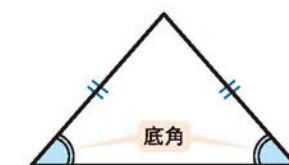
NEW! 等辺三角形について、次の性質が成り立ちます。

Link
考察

辺三形である。

等しい

→ 2辺の長さが等しい三角形を、二等辺三角形といいます。



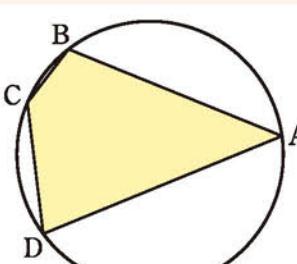
この見開きでは合計8個のコンテンツを用意しています。

(資料1個、考察5個、イメージ1個、補充1個) …③

Link >>



5 円に内接する四角形



左の図の四角形 ABCD の頂点はすべて円周上にあります。角度をはかることで、次の角の和をそれぞれ求めましょう。

$$\angle A + \angle C = \square^\circ, \quad \angle B + \angle D = \square^\circ.$$

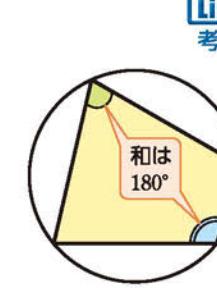
ここで
学ぶこと

4つの頂点が円周上にある四角形に関する性質について学びます。

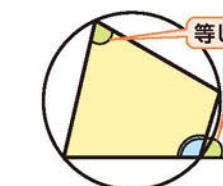
→ 四角形の4つの頂点が1つの円周上にあるとき、この四角形は **円に内接する** といいます。

性質 18 円に内接する四角形

円に内接する四角形の向かい合う内角の和は 180°



「円に内接する四角形では内角とそれに向かい合う角の外角は等しい」ともいえます。

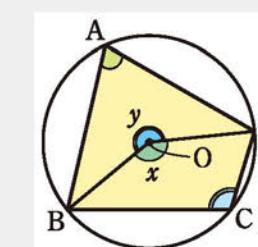


性質 18 の証明 右の図において、円周角の定理から

$$\angle A = \frac{1}{2} \angle x, \quad \angle C = \frac{1}{2} \angle y \quad \text{p.72 性質 16 [1]}$$

$$\text{よって } \angle A + \angle C = \frac{1}{2} \angle x + \frac{1}{2} \angle y = \frac{1}{2} (\angle x + \angle y) = 180^\circ \quad \text{p.360}$$

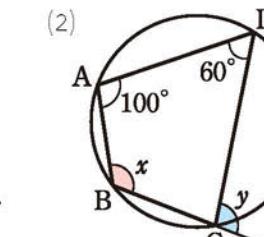
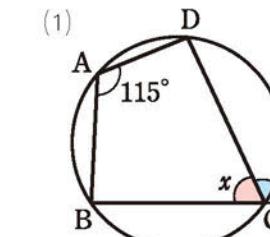
同様に、 $\angle B + \angle D = 180^\circ$ も証明できる。 **証明終**



練習 14 右の図において、 $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。

もっと練習しよう！
90ページ 確認問題 6

Link
補充



图形の性質の証明には網掛けをして、本文と区別することでその重要性が感じられるようにしました。 …②

四角形が円に内接するための条件

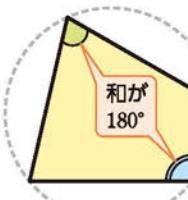
→ 四角形と円について、次のことも成り立ちます。

性質 19 四角形が円に内接するための条件

向かい合う1組の内角の和が

$$180^\circ$$

の四角形は円に内接する。



▲ 向かい合う内角の和が 180° でない四角形は、円に内接しません。

性質 19 の証明 右の図の四角形 ABCD について、

$$\angle A + \angle C = 180^\circ \quad \dots \text{①}$$

3点 A, B, D を通る円を O とし、A を含まない弧 BD 上に点 E をとる。

円に内接する四角形の性質から

$$\angle A + \angle E = 180^\circ \quad \dots \text{②}$$

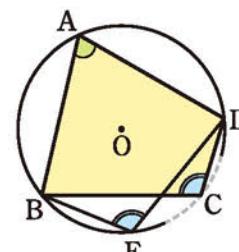
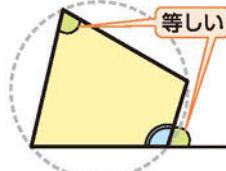
$$\text{①, ②より } \angle C = \angle E$$

円周角の定理の逆から、4点 B, D, C, E は同一円周上にある。

つまり、C は B, D, E を通る円、すなわち円 O 上にある。

よって、四角形 ABCD は円 O に内接する。 **証明終**

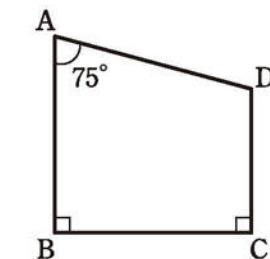
← 「1つの内角と、それに向かい合う角の外角が等しい四角形は円に内接する」ともいえます。



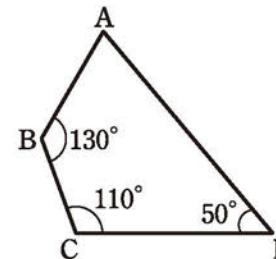
円 O は
A, B, D, E を通る
B, C, D, E を通る
→ A, B, C, D を通る

練習 15 次の(ア), (イ), (ウ)の四角形 ABCD のうち、円に内接するものを選びなさい。

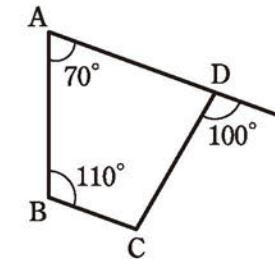
(ア)



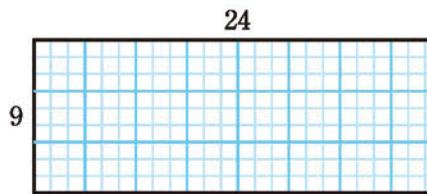
(イ)



(ウ)



2 ユークリッドの互除法



たての長さ 9、よこの長さ 24 の長方形から、1辺の長さが 9 の正方形はいくつ切り取れるでしょうか。左の図に線を引いてみましょう。

ここで
学ぶこと

ここでは、最大公約数を求める新しい方法について学びます。

ユークリッドの互除法をスムーズに理解できるよう、見開きで多くの図を入れ、丁寧に説明しました。…②

- 復** → 24 を 9 でわると、商が 2 あまりが 6 です。このことは、 $24 = 9 \times 2 + 6$ と表されます。一般に、次のことが成り立ちます。

$$(わられる数) = (わる数) \times (商) + (あまり)$$

- 練習**
4 次の文章に合うように、空らんをうめなさい。
58 を 14 でわると、商が 4 あまりが 2 となるので

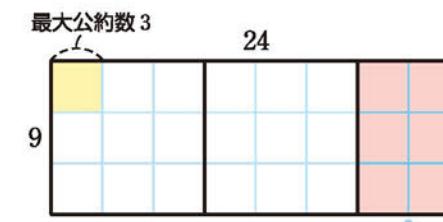
$$58 = 14 \times \boxed{\quad} + \boxed{\quad}$$

- 前ページの例題 1 で求めたように、たての長さ 9、よこの長さ 24 の長方形を同じ大きさのできるだけ大きな正方形で敷き詰めるとき、その 1 辺の長さは、24 と 9 の最大公約数 3 でした。

ここで、1 边が 9 の正方形を考えると、この正方形は 1 边が 3 の正方形で敷き詰められます。

さらに、図のように

1 边が 9 の正方形を 2 個切り取った残りの長方形も、1 边が 3 の正方形で敷き詰められます。



→ 1 边が 3 の正方形は残りの長方形を敷き詰めができる最大の正方形です。

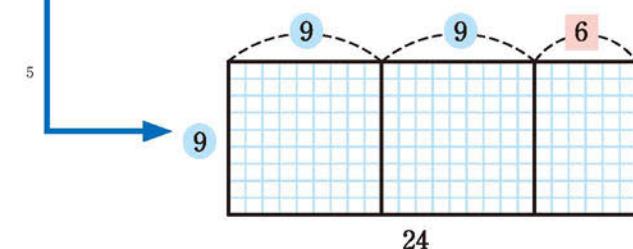
- この考え方をくり返し用いることで、長方形のたてとよこの長さの最大公約数を求めることができます。

長方形ができるだけ大きい正方形で敷き詰める作業を通して、ユークリッドの互除法のアルゴリズムを体験することができます。…②

長方形から正方形を切り取っていくことで最大公約数を求める仕組みを、詳しく丁寧に図解しています。…②

→ 長方形からできるだけ大きい正方形を切り取っていくことで、24 と 9 の最大公約数を求めましょう。

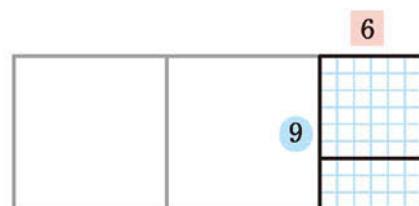
- ① 長方形から、1 边が 9 の正方形を切り取ります。



24 を 9 でわると、商が 2、あまりが 6
1 边が 9 の正方形は 2 個切りれます。

$$24 = 9 \times 2 + 6$$

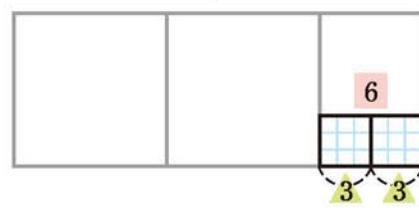
- ② 残りの長方形から、1 边が 6 の正方形を切り取ります。



9 を 6 でわると、商が 1、あまりが 3
1 边が 6 の正方形は 1 個切りれます。

$$9 = 6 \times 1 + 3$$

- ③ 残りの長方形から、1 边が 3 の正方形を切り取ります。

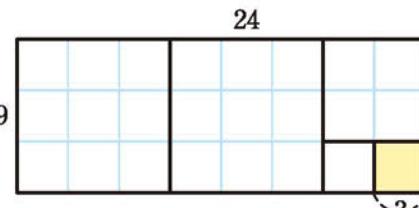


6 を 3 でわると、商が 2、あまりが 0
1 边が 3 の正方形は 2 個切りれます。

$$6 = 3 \times 2 + 0$$

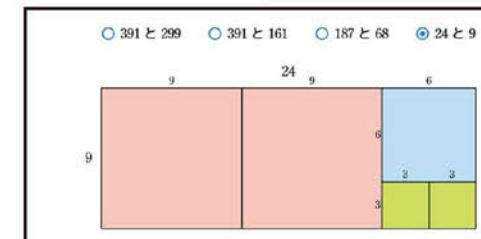
長方形から正方形を切り取る考え方を使って、最大公約数を求める方法に結び付けるコンテンツです。…③

③ の操作をした後は、長方形は残りません。よって、下の図のように、もとの長方形は、1 边が 3 の正方形に分けられます。このことから、24 と 9 の最大公約数は 3 とわかります。



- 上の操作から、次のことがいえます。

$$\begin{aligned} ①(24 \text{ と } 9 \text{ の最大公約数}) &= ②(9 \text{ と } 6 \text{ の最大公約数}) \\ &= ③(6 \text{ と } 3 \text{ の最大公約数}) = 3 \end{aligned}$$



Link
イメージ



練習、確認問題、問題の答

[] 内に、ヒントや略解を示しました。

第1章 第1節 練習 p.8~27

- 1 $B = \{3, 6, 9\}$
- 2 (1) $A \cap B = \{4, 16\}$
(2) $A \cup B = \{1, 4, 8, 9, 12, 16, 20\}$
- 3 $\overline{A} = \{1, 2, 4, 5, 7, 8, 10\}$
- 4 (1) $n(A) = 6$
(2) $n(B) = 7$
- 5 $n(\overline{A}) = 52$
- 6 $n(A \cap B) = 3, n(A \cup B) = 13$
- 7 12通り $[(A, X), (A, Y), (A, Z), (B, X), (B, Y), (B, Z), (C, X), (C, Y), (C, Z), (D, X), (D, Y), (D, Z)]$
- 8 (1) 11通り
(2) 6通り
(3) 6通り
- 9 15通り
- 10 (1) 30
(2) 120
(3) 9
(4) 6
- 11 990通り $[{}_{11}P_3 \text{通り}]$
- 12 20個 $[{}_{5}P_2 \text{個}]$
- 13 (1) 720
(2) 5040
(3) 90
- 14 (1) 24通り
(2) 6通り
- 15 (1) 240通り
(2) 480通り
[(2) $6! - 240$ (通り)]
- 16 24通り
- 17 120通り
- 18 64個
- 19 32通り
- 20 (1) 21
(2) 20
(3) 70
(4) 5
(5) 1
- 21 84通り
- 22 28試合
- 23 (1) 56
(2) 55
(3) 100
- 24 60通り
- 25 800通り
- 26 210個 $[{}_{10}C_4 \text{個}]$
- 27 18個
- 28 56通り

第1章 第1節 確認問題 p.29~31

- 1 $n(\overline{A}) = 36$
- 2 $n(A \cap B) = 2, n(A \cup B) = 20$
- 3 (1) 7通り
(2) 3通り
(3) 9通り
- 4 8通り

自学自習などに活用できるよう、巻末に「練習」「確認問題」「問題」の解答を示しています。 …②

数当てゲーム(119ページで使います)

巻末の付録で第3章の数当てゲームが行えます。
教科書では厚紙になっているので、切り取って体感しながら学ぶことができます。 …②

5 (1) 12 (2) 120 (3) 30 (4) 120

6 (1) 840通り
[(1) ${}_7P_4$ 通り
(2) ${}_{20}P_3$ 通り]

7 (1) 720通り
(2) 120通り

8 (1) 12通り
(2) 144通り
[(2) $4! \times 3!$ (通り)]

9 (1) 120通り
(2) 6通り

10 (1) 243通り
(2) 216通り

11 (1) 6
(2) 10
(3) 56
(4) 10
(5) 126
(6) 190

12 (1) 210通り
(2) 153試合

13 (1) 28
(2) 15
(3) 18
(4) 120
(5) 165
(6) 300

14 (1) 200通り
(2) 180通り
(3) 210通り
[(3) ${}_7C_3 \times {}_4C_2 \times 1$ (通り)]

15 (1) 36本
(2) 84個

16 (1) 5040通り
(2) 21通り
(3) 1440通り
(4) 20通り
(5) 720通り
(6) 128通り

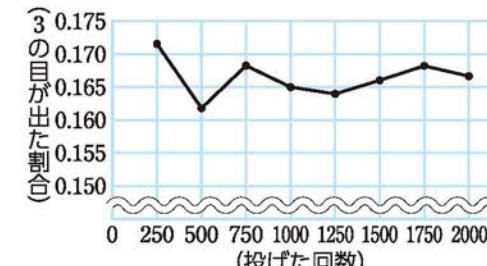
[(6) 2^7 通り]

第1章 第2節 練習 p.32~52

1 (1) $\{5\}$ (2) $\{3, 6\}$

2 (1) 順に 0.166, 0.168, 0.167

(2)



3 (1) $\frac{2}{3}$ (2) $\frac{1}{2}$

4 $\frac{4}{7}$

この5枚のカードを使って、相手が思い浮かべた1から31までの整数を当ててみよう。



カード(ア)

16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	31

カード(イ)

8	9	10	11
12	13	14	15
24	25	26	27
28	29	30	31

カード(ウ)

4	5	6	7
12	13	14	15
20	21	22	23
28	29	30	31

カード(エ)

2	3	6	7
10	11	14	15
18	19	22	23
26	27	30	31

カード(オ)

1	3	5	7
9	11	13	15
17	19	21	23
25	27	29	31

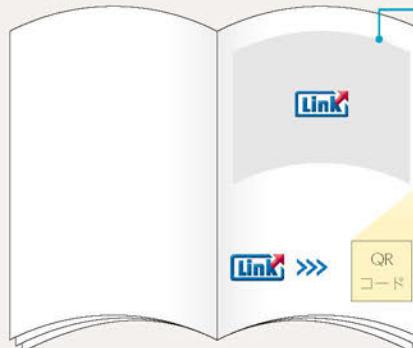
学びをもっと！深める！広げる！ 数研のQRコンテンツ

詳細はこちる！



QR コンテンツでも、「学びやすい」「教えやすい」を追求！

紙面の QR コードからご利用いただけます



QR コンテンツの場所には
Link アイコンを配置

紙面の
QR コードから
タブレットや
スマートフォンで
手軽にアクセス！

NEW!

改訂版の教科書では、原則
見開きページの右下に QR
コードを入れています。
(本冊子 11 ページ参照)



※コンテンツは無料でご利用いただけますが、ネットワーク接続に際し発生する通信料は使用される方のご負担となります。

改訂版教科書の QR コンテンツが、新たな機能を搭載し、より利用しやすくなりました！

考察コンテンツ

生徒が一人でコンテンツを活用できるよう、改訂版では「？」ボタンから使い方を確認できるようになりました。

NEW!

「？」ボタンを押すと…

使い方が表示される！

おすすめ

①上の式の値に変化があるかみてみよう
②点 P(または Q)を動かして…
③θ の値を決めよう

$PQ = \frac{2.970}{OP} = \frac{2.970}{4.200} = 0.7071$ $OP = \frac{2.970}{0.7071} = 4.200$ $OQ = \frac{2.970}{2.970} = 1.0000$

$\theta = 45^\circ$

$PQ = \frac{2.400}{OP} = \frac{2.400}{3.394} = 0.7071$ $OP = \frac{2.400}{0.7071} = 3.394$ $OQ = \frac{2.400}{2.400} = 1.0000$

$\theta = 45^\circ$

△動的に見る

△動的に見る

既習事項の確認問題

NEW!

各章の学習を始める前に、既習事項を確認する問題に取り組むことができます(全章に用意)。自動正誤機能(一部の問題)、豊富な類題、要点を解説する動画を用意しているため、生徒が一人で既習事項を確認できます。

三日目 第1章 数と式 の学習の前に

分数の計算
問題 (1) (2) (3) (4)

次の計算をせよ。
(1) $\frac{1}{3} + \frac{3}{4}$ (2) $\frac{1}{2} - \frac{1}{5}$
(3) $\frac{3}{4} \times \frac{8}{9}$ (4) $\frac{1}{5} \div \frac{7}{10}$

正の数、負の数の計算
問題 (1) (2) (3) (4)

次の計算をせよ。
(1) $10 + (-6)$ (2) $9 - (-7)$
(3) $(-4) \times (-5)$ (4) $12 \div (-2)$

累乗の計算
問題 (1) (2) (3)

次の計算をせよ。
(1) 4^2 (2) $(-2)^3$ (3) -4^2

四則の混じった式の計算
問題 (1) (2)

次の計算をせよ。
(1) $18 - 3 \times 9$ (2) $4 - 3 \times (4 - 5)^2$

式の値

自動正誤機能

次回の課題 四則の混じった式の計算
次の計算をせよ。
(2) $4 - 3 \times (4 - 5)^2$

次回の課題 四則の混じった式の計算
次の計算をせよ。
(2) $3 - 18 \div (5 - 8)^2$
 $3 - 18 \div 9 \div 1$

豊富な類題

計算カード

教科書の練習の反復問題を数多く用意しています。

>> 先生 「ふせんモード」で生徒に答えさせながら演習を進めます。
ペン機能も搭載しているため、問題に書き込みながら解説ができます。

>> 生徒 「入力モード」で手書きやキーボードで解答しながら進めます。
スキマ時間を使って楽しく反復演習をすることができます。

ふせんモード

$(2x-3)(3x-1)$

$=$

入力モード

$(x-1)(2x+1)$

$= 2x^2 - x - 1$

$-4x - 5 \geq 7$

$x \leq -3$

おすすめ

QR コンテンツ数

数学 I	数学 A
1942	1580

(注) QR コンテンツ数は、すべてのコンテンツのデータ数(例えば計算カードでは問題数)をあわせたものです。

章の構成と時間配当表

数学 I

章・節	頁数	配当時間
第1章 数と式	50	26
第1節 数と式の計算	32	18
第2節 1次不等式	12	6
問題・コラム	2	1
課題学習	2	1
第2章 2次関数	42	25
第1節 2次関数のグラフ	19	11
第2節 2次関数の値の変化	17	12
問題・コラム	2	1
課題学習	2	1
第3章 図形と計量	36	21
第1節 三角比	19	11
第2節 三角形への応用	11	8
問題・コラム	2	1
課題学習	2	1
第4章 集合と命題	16	7
集合と命題	10	5
確認問題・コラム	2	1
課題学習	2	1
第5章 データの分析	27	11
データの分析	20	9
確認問題・コラム	2	1
課題学習	3	1
合計	171	90

(注)各章のページ数には、章とびら(2ページ分)も含みます。

配当時間は目安です。

教科書の目次は、本冊子 p.4, 5をご参照ください。



数学 A

章・節	頁数	配当時間
第1章 場合の数と確率	50	41
第1節 場合の数	24	21
第2節 確率	23	19
問題	1	1
第2章 図形の性質	44	31
第1節 平面図形	34	25
第2節 空間図形	6	5
問題・コラム	2	1
第3章 数学と人間の活動	23	18
数学と人間の活動	20	17
確認問題・問題	1	1
合計	117	90

副教材

教科書傍用問題集

2025年度
改訂予定

新 高校の数学対応 ポイントノート シリーズ

B5判／2色 ノート判 詳解 別冊(挟み込み)

基本を身に付ける書き込み式問題集

- 教科書の本文内の反復問題を中心に採録しているので、基本の確認に最適です。
- 例では、色を使った補足説明を適宜入れて、無理なく問題に取り組めます。
- 各問題には、対応する教科書のページ、例・例題番号を明示しています。
- 数項目ごとに「確認問題」、章末に「演習問題」を設けています。
- また、巻末にはぎ取り提出できる「練習問題」が付いています。
- 「確認問題」には小問をランダムに並べ、公式をどう使うか判断する問題も掲載しています。



※チャート×ラボ：練習問題の紙面データ

新 高校の数学対応 教科書学習ノート シリーズ

B5判／1色 ノート判 詳解 別冊(挟み込み)

新 高校の数学シリーズに完全対応した書き込み式問題集

- 左ページは教科書「新 高校の数学」の「練習」をそのまま掲載、右ページはその反復問題という構成です。
→左ページは授業で解き、右ページは左ページを見ながら解くという使い方ができます。
- 1つの内容をくり返し学習することで、基礎学力の定着が図れます。
- 教科書の「確認問題」「問題 A, B(章末問題)」も掲載しています。



※表紙は初版のものです。



2025年度
改訂予定

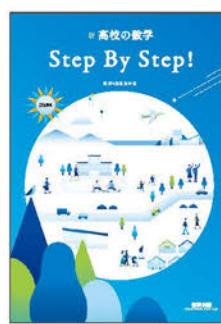
補助教材

Step By Step! 新 高校の数学

※以下の内容は検討中で
あり、変更になる場合
もございます。

B5判／2色 ノート判 詳解 別冊(別冊包)

- 算数・中学数学の基本計算を学び直すことができる書き込み式問題集
- 数学 I に必要な算数・中学数学の基本計算を、数学 I に入る前にしっかりと学び直すことができます。
 - 確認問題としてドリルページを設けていますので、十分な演習量を確保しています。
 - 丁寧な解答編を用意していますので、自学自習にも最適です。



※表紙は初版のものです。



2025年度
改訂予定

53

教授資料

改訂版の教授資料でも、豊富な資料と付属データで授業をサポートします。

POINT

1 授業で役立つ付属データが充実

POINT

2 学習評価やQRコンテンツの利用に役立つ情報を掲載

POINT

3 教科書の解説動画で自学自習をサポート

教授資料の構成

教授資料本冊
→ 56, 57 ページ

**学習評価
サポートブック**
→ 58, 59 ページ

**デジタルコンテンツ
サポートブック**
→ 59 ページ

解説動画(Webs配信)
→ 55 ページ

付属データ
→ 60~65 ページ

NEW!

チャート×ラボ
または

DVD

*教授資料付属のDVD-ROMに収録しているすべてのデータは「チャート×ラボ」からダウンロードすることができるようになります。また、DVD-ROM収録外のデータや、追加・修正が生じた場合の最新データを「チャート×ラボ」にてご用意する場合があります。「チャート×ラボ」については裏表紙をご参照ください。

*教授資料の発行予定や内容は予告なく変更される可能性があります。

*解説動画の画像は初版のものです。

教科書の解説動画をご用意しています！

教科書の解説動画は、

「教授資料」「指導者用デジタル教科書(教材)」「学習者用デジタル教科書・教材」のいずれかをご購入いただいた場合に、追加費用なしでご視聴いただけます。

- 自学自習をサポートします。
- 反転学習にも活用できます。
- 対面授業が難しい状況下でも学習が進められます。

サンプルは
こちら！→



ご利用のイメージ(教授資料ご購入の場合)



※「指導者用デジタル教科書(教材)」では、授業中に解説動画を拡大提示することができます。
また、「学習者用デジタル教科書・教材」では、紙面より解説動画にダイレクトにアクセスして視聴することができます(ただし、商品ライセンスを所持している生徒に限ります)。

※解説動画の画像は初版のものです。

解説動画数(予定)

教科書の
すべての例・例題の解説動画
をご用意しています。

数学 I	120 本
数学 A	65 本

解説動画のイメージ画面

2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値

例題 2 次関数 $y = 2x^2 - 4x + 1$ の最大値、最小値を調べなさい。

(解答) $y = 2x^2 - 4x + 1$
 $= 2(x^2 - \boxed{2}x) + 1$
 $= 2[(x - \boxed{\frac{1}{2}})^2 - \boxed{\frac{1}{4}}] + 1$
 $= 2(x - \boxed{\frac{1}{2}})^2 - 1$
 したがって、 $y = 2x^2 - 4x + 1$ のグラフは右の図のようになる。(続く)

2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値

例題 図のような傾き 20° の斜面を、そりに乗って地点 B から 100 m の距離だけすべり地点 A で止まった。次の問いに、小数第 1 位を四捨五入して答えなさい。(2) 2 地点 A, B の水平距離は何 m ですか。

(解答) 求めるものは図の AC の長さである。
 因から $\cos 20^\circ = \frac{\text{水平距離}}{100}$
 よって $AC = \frac{100}{\cos 20^\circ}$ (続く)

解説動画対応のプリント類もご用意します。→ 64, 65 ページ

教授資料本冊

付属
データ

ページ構成は
教科書の縮刷り+該当ページの解説・解答
として、見やすい構成になっています。

教科書 p.69

Link → 本書 p.310

2次関数 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ
 $y=ax^2$ のグラフを頂点が (p, q) 、軸方向に a だけ平行移動した放物線である。
軸は直線 $x=p$ 、頂点は点 (p, q) である。

練習 15
○グラフをかかせるための導入問題である。

練習 16
○ $y=a(x-p)^2+q$ とすると、
(1)は $p>0, q>0$, (2)は $p<0, q<0$
(3)は $p<0, q>0$, (4)は $p>0, q<0$
の場合であり、平行移動についてすべての符号の組み合わせを取り上げた。
○さらに練習させたい場合は、「もっと練習しよう！」の図 p.76 確認問題 3 を追加する。
○練習 16 を用いて、簡単なアクティブ・ラーニング型授業を行うことができる。詳細は、別図 p.39 および DVD の授業用ワークシートを参照。

解 答

練習 15 (1) x 軸方向に -2 , y 軸方向に -5 だけ平行移動
(2) x 軸方向に 3 , y 軸方向に 1 だけ平行移動

練習 16

(1) $y = a(x-2)^2 + 3$ 軸は直線 $x=2$ 頂点は点 $(2, 3)$
(2) $y = a(x+3)^2 - 2$ 軸は直線 $x=-3$ 頂点は点 $(-3, -2)$
(3) $y = a(x+1)^2 + 2$ 軸は直線 $x=-1$ 頂点は点 $(-1, 2)$
(4) $y = a(x-1)^2 - 3$ 軸は直線 $x=1$ 頂点は点 $(1, -3)$

第2章 2 次 関 数 133

ご指導上の要点や留意点を簡潔に記しています。
デジタルコンテンツや構成要素についても、十分な解説を掲載しています。

教科書の練習の最終的な答えをまとめています。

※体裁紙面は初版のものです。

NEW!

改訂版から、教授資料本冊の紙面の PDF データをご用意します。

各章末には、「補助教材」として、興味を引く話題や、数学を体感できる教材を紹介しています。

◎ 補助教材

放物線の利用 遠隔発火装置

■ 模型のしくみと数学的背景

○サンフランシスコの科学探求館には、次のような不思議な大きい部屋があるという。部屋の遠く離れた 2 地点にイスが置かれていて、そこに座っている 2 人が普通の大きさの声で自然に会話するのだが、部屋にいる他の人々、2 人の間に立っている人ですら、2 人のやりとりが聞こえない。もちろん、イヤホンだと携帯電話等の特別な装置を使っているわけではない。

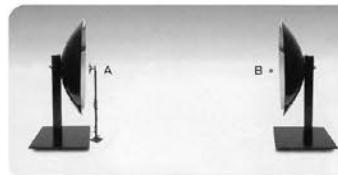
○その仕掛けは、2 人のイスの後ろには回転放物面（放物線を軸に回転させた曲面、身の回りではパラボラアンテナがこの形をしている）の反射板があり、2 人のイスは、それぞれの放物面の焦点の位置にあるというだけだそうである。

○放物線や放物面には、本書 p.169 で図とともに記したように、「軸に平行に入射した光や電波、音波等を、ある1点（焦点）に集中させる」

という性質や「焦点から発射された光や電波、音波等が、この曲面に反射すると、軸に平行に出ていく」

という性質があり、これらの性質から、向かい合った 2 つの放物面の焦点の位置にいる 2 人にそれぞれの音が集中することになる。同じ部屋にいる他の人々には 2 人のやりとりが聞こえないにもかかわらず、遠く離れて座っている 2 人には自然に会話することができるというわけである。

○写真は、これと同じ原理の回転放物面を 2 個（それぞれ A, B とする）用いた遠隔発火装置である。A の焦点の位置に強い光源を置くと、その光は放物面 A で反射して軸に平行に進み、放物面 B で反射して B の焦点の位置に集まる。その結果、B の焦点の位置に置かれた紙くずは燃え上がる。離れた場所に比較的効率よく熱を伝える方法である。この原理を応用すれば、遠くにあるマッチ棒に火をつけることもできるといった具合である。



172 補 助 教 材

教科書の後ろ見返しで取り上げた「遠隔発火装置」について、しくみを解説しています。

※体裁紙面は初版のものです。

※このほか、数学 I, 数学 A の教授資料では、小学校・中学校との関連事項にも触れており、学びの連続性を大切にしています。

学習評価に関する参考資料



学習指導要領のもとで、先生方が観点別学習状況の評価をする際にヒントとしてお使いいただけます。冊子「学習評価サポートブック」をご用意しています。

学習指導要領では、観点別学習状況の評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

●観点別学習状況の評価についての考え方や評価例に関する参考資料です。

1. 学習指導要領と観点別学習状況の評価
2. ループリックとは何か
3. ループリックの事例

●「観点別評価集計ファイル(Excel)」をご用意しています。ペーパーテストの素点やレポート等の評価を入力いただくと、各生徒の観点別評価を自動算出(A, B, Cで算出)します。

●紙面のPDFデータもご用意します。 NEW!

観点別学習状況の評価、ループリックについて

明治大学教授 北島茂徳

1. 学習指導要領と観点別学習状況の評価

2. 観点別評価集計ファイル(Excel)

3. 紙面のPDFデータ

※体裁画像は初版のものです。

●「主体的に学習に取り組む態度」などの評価にも役立つ課題例を収録します。

課題への取り組みを評価するための「ループリック」、教科書やその応用との対応、指導方法を記した「指導用資料」をご用意します。 NEW!

課題

課題1 展開と因数分解

【目標】

展開と因数分解の問題を解くときの違いについて考察する。
この問題で活用したい知識・技術
・展開・因数分解

問題1最後のAさんは、次の(展開の例)と(因数分解の例)をもとに、それぞれの問題を解いた問題について考えています。ここでは、多項式の因数分解について問題であります。

展開の例: $(2x+3)(4x+5)$ を展開すると、 $(2x+3)(4x+5) = 8x^2 + 22x + 15$

因数分解の例: $(2x+7)(x+6)$ を因数分解すると、 $(2x+7)(x+6) = (2x+7)x + (2x+7) \cdot 6$

Aさん達はいろいろな文部省の問題をやってきましたが、展開の問題は必ず解答が出来ますが、因数分解の問題は必ずせない場合があることに気づきました。

① 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{① } (x+3)(x+3) \quad \text{② } (x+3)(x+4) \quad \text{③ } (2x+3)(x-1)$$

④ 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{⑤ } (x+3)(x+3) \quad \text{⑥ } (x+3)(x+4) \quad \text{⑦ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{⑧ } (x+3)(x+3) \quad \text{⑨ } (x+3)(x+4) \quad \text{⑩ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{⑪ } (x+3)(x+3) \quad \text{⑫ } (x+3)(x+4) \quad \text{⑬ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{⑭ } (x+3)(x+3) \quad \text{⑮ } (x+3)(x+4) \quad \text{⑯ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{⑰ } (x+3)(x+3) \quad \text{⑱ } (x+3)(x+4) \quad \text{⑲ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{⑳ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉑ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉒ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉓ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉔ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉕ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉖ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉗ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉘ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉙ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉚ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉛ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉛ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉜ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉝ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉞ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数とします。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 因数分解の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、因数分解した等を求めましょう。

$$\text{㉟ } (x+3)(x+3) \quad \text{㉟ } (x+3)(x+4) \quad \text{㉟ } (2x+3)(x-1)$$

● 展開の問題について、次の2つの式をそれぞれわけて、展開した等を求めましょう。ここで、 x は正の整数と

教授資料付属データ一覧



- 教授資料付属データは教授資料本冊のDVD-ROMと「チャート×ラボ」からご利用いただけます。
「チャート×ラボ」については裏表紙をご参照ください。
- 「チャート×ラボ」からはすべてのデータをダウンロードできるようにします。 NEW!

◆演示用

授業用スライド	PowerPoint	Pick Up → 61 ページ
◆プリント／資料		
授業用ワークシート	PDF	Studydrive
アクティブ・ラーニング型授業例	PDF	Studydrive
単元テスト、第●章を学習する前に	PDF	
解説動画対応プリント類(数学Ⅰ) 定着確認テスト、ふりかえりプリント	PDF	Pick Up → 64 ページ
通信制高校向け レポート案	PDF	Studydrive
NEW! 教授資料紙面(※1)	PDF	
教科書紙面(※2)	PDF	
NEW! 学習評価課題例(※3)	PDF	Studydrive
シラバス・観点別評価規準	Word	
時間配当表、観点別評価集計ファイル	Excel	
解答一覧	PDF	Studydrive
統計データ(数学Ⅰ)	Excel	Pick Up → 62 ページ
一部の補助教材に関するプログラム		

(※1)教授資料本冊、学習評価に関する参考資料、デジタルコンテンツに関する参考資料の紙面のPDFデータをご用意します。

(※2)「写真なども含まれたデータ」(閲覧のみ)と、「写真など第三者が著作権をもつものを除いたデータ」の2種類をご用意します。

(※3)「課題」のほかに、取り組みを評価するための「ループリック」、教科書やその応用との対応や指導方法を記した「指導用資料」をご用意します。

(※注)各科目のDVD-ROMには、弊社発行の全シリーズ(同科目)のデータを収録しています。

Pick Up 授業用スライド、授業用ワークシート

付属
データ

- 授業用スライドをパワーポイントデータでご用意しています。
- 授業用スライド(パワーポイントデータ)に音声を挿入するなど、先生が解説動画などを作成する際の素材にもなります。
- 授業用スライドと合わせてお使いいただける授業用ワークシートもご用意しています。

授業用スライド

2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値 (教科書p.79)

例題1 2次関数 $y = 2x^2 - 4x + 1$ の最大値、最小値を調べなさい。

(解答) $y = 2x^2 - 4x + 1$
 $= 2(x^2 - 2x) + 1$
 $= 2[(x - 1)^2 - 1] + 1$
 $= 2(x - 1)^2 - 1$
 したがって、 $y = 2x^2 - 4x + 1$ のグラフは右の図のようになる。(続々)

授業用ワークシート

3回 2次関数の最大値、最小値(2) (教科書p.79)

例題1 2次関数 $y = 2x^2 - 4x + 1$ の最大値、最小値を調べなさい。

(解答) $y = 2x^2 - 4x + 1$
 $= 2(x^2 - 2x) + 1$
 $= 2[(x - 1)^2 - 1] + 1$
 $= 2(x - 1)^2 - 1$
 したがって、 $y = 2x^2 - 4x + 1$ のグラフは右の図のようになります。

※画像はすべて初版のものです。

主体的・対話的で深い学びへの参考資料

付属
データ

- アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業実践を検討されている先生方に、そのヒントとしていただきため、アクティブ・ラーニング型授業の授業実践例をデータにしてご用意しています。
- 各授業実践例は「授業の流れ(解説)」+「プリント例」で構成されています。

授業の流れ(解説)

第2回 不等式の解き方(1) (教科書p.11)

例題1 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 2 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。



プリント

2.1回 不等式の解き方(2) (教科書p.11)

例題1 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 2 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 3 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 4 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 5 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 6 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 7 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 8 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辆を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 9 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 10 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 11 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 12 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 13 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 14 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 15 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 16 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 17 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 18 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 19 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 20 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 21 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 22 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 23 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 24 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 25 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 26 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 27 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 28 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 29 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 30 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 31 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 32 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 33 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 34 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 35 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 36 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 37 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 38 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 39 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 40 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 41 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 42 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 43 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 44 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 45 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 46 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 47 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 48 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 49 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 50 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 51 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 52 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 53 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 54 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 55 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 56 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 57 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 58 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 59 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 60 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 61 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 62 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 63 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 64 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 65 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 66 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 67 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 68 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 69 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -2$ となる。

問題 70 不等式 $x + 4 > 2$ を解きなさい。

(解説) $x + 4 > 2$
 両辺を -4 で引いて $x > -$

Pick Up 自ら学べる丁寧な解答一覧

付属
データ

とにかく便利 教科書本文の全問収録

「練習問題」、節末「確認問題」、章末「問題A・問題B」を「各項目」「各節」「各章」の単位で収録。

● 収録形態が豊富だから機能的でスピーディー

「日常学習の習慣化」「スマートルステップによる達成感」「反転学習」など様々な授業形態や進度、生徒さんの定着に合わせて解答を手早く印刷・活用・配付できます。

● 印刷時に「問題文+解答」と「解答のみ」まで選べる

必要なときに！必要な箇所を！必要なだけ！渡せます。紛失しても対応がしやすくなっています。

● 「学習のつまずき」にも配慮した解答文

自宅学習(予習・復習)にも使いやすいよう、解答の書き方は教科書の本文にそろえています。さらに、解答の右側には、必要な知識や途中の計算式などが丁寧に補足してあり、無理なくスムーズに内容を確認することができます。

● 収録データ

- ・「問題文+解答」「解答のみ」の「項目ごと」「節ごと」「章ごと」のPDFファイル
- ・数研のデータベースソフト **Studydata** のデータ^(※)

(※) **Studydata** をお持ちならば、B5～A3 サイズの1～3段組といった多様な印刷形式が可能です。

問題文をつけて印字することができます。手元に教科書がなくても内容を確認することが可能です。

「問題文+解答」の印字例
(sample)

第3章 図形と計量 第1節 (p.100～119)

練習1

上の図において、△ABCと△DEFは相似になる。
ピラミッドの高さEFは何mですか。

練習4 次の直角二角形において、sin A, cos A, tan A の値を求めなさい。

(1)

(2)

練習4

(1) $\sin A = \frac{BC}{AB} = \frac{5}{13}$, $\cos A = \frac{AC}{AB} = \frac{12}{13}$,
 $\tan A = \frac{BC}{AC} = \frac{5}{12}$

(2) $\sin A = \frac{BC}{AB} = \frac{3}{\sqrt{24}}$, $\cos A = \frac{AC}{AB} = \frac{5}{\sqrt{24}}$,
 $\tan A = \frac{BC}{AC} = \frac{3}{5}$

練習5 下の表を完成させなさい。

A	30°	45°	60°
sin A	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
cos A	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$
tan A	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$

練習6

A	30°	45°	60°
sin A	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
cos A	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$
tan A	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$

練習7 次の等式を、三角比の表から求めなさい。

(1) $\sin 14^\circ = \boxed{}$ (2) $\cos 30^\circ = \boxed{}$
(3) $\tan 80^\circ = \boxed{}$

練習8

△ABCと△DEFであるから、分母が等しいので等しい。
よって $BC : EF = AC : DF$

したがって $1 : EF = 2 : 20$

したがって $1 \times 20 = EF \times 2$

$EF = \frac{20}{2} = 10$

よって、ピラミッドの高さは 10m

練習9 30°の直角二角形において、斜辺の長さを x とする。

△ABCの直角二角形であるから、
 $BC : AC = 1 : \sqrt{3}$

よって $x^2 = 1^2 + (\sqrt{3})^2 = 1 + 3 = 4$

したがって $x = \sqrt{4} = 2$

よって、斜辺の長さは 2m

練習10 45°の直角二角形において、斜辺の長さを x とする。

△ABCの直角二角形であるから、
 $BC : AC = 1 : 1$

よって $x^2 = 1^2 + 1^2 = 1 + 1 = 2$

したがって $x = \sqrt{2}$

よって、斜辺の長さは $\sqrt{2}$ m

練習11 60°, 45°, 30°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{2}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{2}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : \sqrt{2} : \sqrt{3}$

練習12 30°, 60°, 90°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 2 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 2 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 2 : \sqrt{3}$

練習13 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習14 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習15 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習16 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習17 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習18 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習19 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習20 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習21 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習22 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習23 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習24 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習25 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習26 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習27 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習28 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習29 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習30 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習31 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習32 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習33 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習34 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習35 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習36 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習37 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習38 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習39 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習40 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習41 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習42 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習43 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習44 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習45 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習46 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習47 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習48 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習49 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習50 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習51 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習52 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習53 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習54 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習55 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習56 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習57 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習58 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習59 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習60 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習61 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習62 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習63 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習64 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習65 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習66 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 : 1 : $\sqrt{3}$

すなわち 1 : 1 : $\sqrt{3}$

よって、(1) (2) (3) は $1 : 1 : \sqrt{3}$

練習67 30°, 45°, 60°の直角二角形の辺の長さの比は

1 :

Pick Up 解説動画対応のプリント類

付属
データ

コロナ禍を経て身近になったオンライン授業。学習の基礎・基本である教科書だからこそ、主体的に取り組み、定着を実感していただきたい。そんな思いでご用意しました。

●「定着確認テスト」と「ふりかえりプリント」の2種類をご用意

教科書数学Ⅰの全ての例・例題の解説動画に対応しています。

生徒さんが自学自習に取り組みやすく、「日常学習の習慣化」「スマールステップによる達成感」を目指す授業に活用しやすい構成です。

動画とプリントをあわせて使うと
学習効果が期待できます

2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値
例題 2次関数 $y = 2x^2 - 4x + 1$ の最大値、最小値を調べなさい。
(解答) $y = 2x^2 - 4x + 1$
= $2(x^2 - 2x) + 1$
= $2((x - 1)^2 - 1) + 1$
= $2(x - 1)^2 - 1$
したがって、 $y = 2x^2 - 4x + 1$ のグラフは右の図のようになる。(続く)

解説動画 (Web配信) ※画像は初版のものです。

●解説動画視聴 ⇄ 定着確認テストで理解度を確認

「いつでも」・「どこでも」・「何度も」

生徒さんが主体的に取り組む姿勢を育みます。

定着確認テスト 64
2次関数の最大値、最小値(3) (教科書 p.79 例題1)
()年()組()番 名前()

次の2次関数の最大値、最小値を調べなさい。
(1) $y = 2x^2 + 8x + 5$

(2) $y = -x^2 + 6x - 8$

定着確認テスト (sample)

※画像は初版のものです。

●「学習のつまずき」に配慮(動画に関連した既習事項の理解度を確認します)

「ふりかえりプリント」では、主に解説動画を視聴して理解できなかった場合や、視聴する前の準備として取り組める内容としました。教科書の内容理解の手助けとなります。

例えば、「2次関数の最大値、最小値」の解説動画に対しては、習得が必須である「平方完成」や「グラフのかき方」の復習を扱います。

ふりかえりプリント (sample)

ふりかえり 64 教科書 p.79 例題1を解くための準備
2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ の最大値、最小値を、グラフを利用して求めるために、式変形と2次関数のグラフのかき方を復習しましょう。

① 次の空欄をうめなさい。
(1) $y = 3x^2 + 12x + 3$
= $3(x^2 + \boxed{\quad}x) + 3$
= $3\left(x + \boxed{\quad}\right)^2 - \boxed{\quad} + 3$
= $3(x + \boxed{\quad})^2 - \boxed{\quad}$
(2) $y = -x^2 + 8x + 1$
= $-(x^2 - \boxed{\quad}x) + 1$
= $-(x - \boxed{\quad})^2 + \boxed{\quad} + 1$
= $-(x - \boxed{\quad})^2 + \boxed{\quad}$

② 2次関数 $y = 2(x - 2)^2 - 1$ について、次の問いに答えなさい。
(1) 2次関数 $y = 2(x - 2)^2 - 1$ のグラフをかぎなさい。
(2) グラフから最大値、最小値を調べ、次の空欄をうめなさい。なお、()内では、正しい方に○をつけなさい。

yは
 $x = \boxed{\quad}$ で(最大値・最小値) $\boxed{\quad}$ をとる。
(最大値・最小値)はない。

※画像は初版のものです。

Google フォーム

付属
データ

●教授資料付属データの単元テストに対応した「自己評価アンケート」、通信制高校向けレポートに対応した「振り返りカード」のGoogle フォームデータをご用意しています。

●ご採用の教授資料の付属データとして、「チャート×ラボ」からのダウンロードによってご利用いただけます。

B このレポートに取り組んだ結果、全体的に感じたことを次の中から選びなさい。 *

できた
 ややできた
 少しうまくなかった
 できなかった

サンプルは
こちら！→

※画像は初版のもの
です。

Studyaid[®] 数学シリーズラインアップ

令和8年度発行の数学I、数学Aに対応した商品のラインアップについては、検討中です。

商品名		収録内容	問題数 ^{†1}	No.	税込価格【教育機関向け】	購入方法
商品名	収録内容	問題数 ^{†1}	No.	税込価格【教育機関向け】		購入方法
				1ライセンス版	構内フリーライセンス版	
中学数学 1996~2020 データベース	● 中学数学 1999 データベース、(1996~1999) から中学数学 2020 データベースまでの 25 年分の入試問題全て ● 小学校の復習問題 ● 补充問題 ● プレゼンテーションコンテンツ (3 学年合計約 50 個を収録) ● 全国の 2024 年度公立高校入試問題 ● 国立高校 7 校の 2024 年度入試問題 ● 私立高校約 80 校の 2024 年度入試問題 ● 小学校の復習問題 ● 补充問題 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ (3 学年合計約 150 個を収録) ^{†4}	約 60,500 問	99325	66,000 円 優待価格 ^{†2} 33,000 円	99,000 円	DVD-ROM 版の販売はございません。
中学数学 2024 データベース ～日常学習から高校入試へ～	● 「改訂版 中学数学スタンダード問題集」の 3 冊 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ (3 学年合計約 150 個を収録) ^{†4}	約 3,200 問	99144	15,950 円	29,700 円	取扱店様へ
令和 7 年改訂版 中学数学 基本問題データベース Light ^{NEW}	● 「改訂版 中学数学スタンダード問題集」の 3 冊 ● 「改訂版 STEP 演習中学数学」の 3 冊 ● 「改訂版 STEP 演習中学数学」の 3 冊 ● 「改訂版 中学数学スタンダード問題集」の 3 冊 ● 小学校の復習問題 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ (3 学年合計約 150 個を収録) ^{†4}	約 1,100 問	99319	9,900 円	22,000 円	直接数研出版へ
令和 7 年改訂版 中学数学 問題集データベース 1・2・3 年 ^{NEW}	● 「改訂版 中学数学スタンダード問題集」の 3 冊 ● 「改訂版 STEP 演習中学数学」の 3 冊 ● 「改訂版 STEP 演習中学数学」の 3 冊 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ (3 学年合計約 150 個を収録) ^{†4}	約 6,800 問	99356	15,950 円	29,700 円	直接数研出版へ
体 系 数 学	改訂版 体系数学 1 データベース ^{NEW} ～中学数学 + α～	● テキスト「改訂版 体系数学 1」の 2 冊 ● 「改訂版 体系問題集（標準）」の 2 冊 ● 「改訂版 体系問題集（実践）」の 2 冊 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ（紙面表示、スライドピッパー、QR コードコンテンツ、学習ツール） ^{†4}	約 3,450 問	99781	19,250 円	35,200 円
	改訂版 体系数学 2 データベース ^{NEW} ～中学数学 + α～	● テキスト「改訂版 体系数学 2」の 2 冊 ● 参考書「改訂版 チャート式体系数学 2」の 2 冊 ● 「改訂版 体系問題集（標準）」の 2 冊 ● 「改訂版 体系問題集（実践）」の 2 冊 ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ（紙面表示、スライドピッパー、QR コードコンテンツ、学習ツール） ^{†4}	約 3,200 問	99784	19,250 円	35,200 円
	新課程 体系数学 3, 4, 5 データベース	● テキスト「新課程 体系数学 3, 4, 5」の 4 冊 ● 「問題集「新課程 体系問題集 3, 4, 5」の 4 冊（テキスト、問題集とも 3 卷は 2 分冊） ● エスピーア用プレゼンテーションコンテンツ（紙面表示、QR コードコンテンツ、学習ツール） ^{†4} 【注】「新課程 体系数学 4」「新課程 体系数学 5」とその準拠問題集のデータは、製品 DVD-ROM には含まれておりません。本商品をご購入いただいた方は、弊社ホームページよりアップデートが必要です。	約 4,800 問	99787	13,200 円	27,500 円
受 験 用	数学入試 1996~2020 データベース	● 数学入試 1996~2020 データベースから数学入試 2020 データベースまでの 25 年分のデータ全て	約 32,000 問	99324	66,000 円 優待価格 ^{†2} 33,000 円	99,000 円
	数学入試 2024 データベース	● 2024 数学入試問題集（I II ABC ベクトル、III C 循環）● 「入試問題集」に収録されていない基本～標準レベルの入試問題 ● 令和 6 年度大学入学共通テスト ● 新課程大学入学共通テスト試作問題 ● センター試験過去問（25 年分） ● 「新課程オリジナル数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「2025 スタンダード数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程クリアー数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程メガバン数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程キートレーニング数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程シニア数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程オリジナル・スタンダード数学演習 III・C 受験編」 ● 「新課程クリアー数学演習 III・C 受験編」● 「新課程ベーシックスタイル数学演習 III・C 受験編」● 「新課程リック数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程リック数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程リンク数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程ジュニア数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程 SetUp 数学演習 I II ABC 基本問題集」● 「新課程 SetUp 数学演習 I II ABC 標準問題集」 ● 「2025 数学重複問題集 数学 I・II・III・A・B・C（理系）」● 「新課程数学重複問題集 数学 I・II・A・B・C（文系）」 ● 「新課程トライ EX NEO 数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程ニュースタンダード数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程ニューステージ数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程統合演習 PLAN100」 ● 「新課程チャート式大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」● 「新課程能力・判断力・表現力を磨く数学 I・A」 ● 「新課程数学思考力・判断力・表現力を磨く数学 II・B・C」● 「令和 7 年度大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」● 「令和 3 ~ 6 年度大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」 ● 「新課程大学入学共通テスト試作問題 ● 大学入学共通テスト試験調査（第 1 回、第 2 回）● センター試験過去問（25 年分） ● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4}	約 2,200 問	99224	11,000 円	25,300 円
	数学受験編 2025 データベース ^{NEW}	● 「新課程オリジナル数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「2025 スタンダード数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程クリアー数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程メガバン数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程キートレーニング数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程シニア数学演習 I・II・A・B・C 受験編」 ● 「新課程ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B・C 受験編」● 「新課程オリジナル・スタンダード数学演習 III・C 受験編」 ● 「新課程クリアー数学演習 III・C 受験編」● 「新課程ベーシックスタイル数学演習 III・C 受験編」● 「新課程リック数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程リック数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程リンク数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程ジュニア数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程 SetUp 数学演習 I II ABC 基本問題集」● 「新課程 SetUp 数学演習 I II ABC 標準問題集」 ● 「2025 数学重複問題集 数学 I・II・III・A・B・C（理系）」● 「新課程数学重複問題集 数学 I・II・A・B・C（文系）」 ● 「新課程トライ EX NEO 数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程ニュースタンダード数学演習 I・A・B・C 受験編」 ● 「新課程ニューステージ数学演習 I・A・B・C 受験編」● 「新課程統合演習 PLAN100」 ● 「新課程チャート式大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」● 「新課程能力・判断力・表現力を磨く数学 I・A」 ● 「新課程数学思考力・判断力・表現力を磨く数学 II・B・C」● 「令和 7 年度大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」● 「令和 3 ~ 6 年度大学入学共通テスト対策数学 I・A II BC」 ● 「新課程大学入学共通テスト試作問題 ● 大学入学共通テスト試験調査（第 1 回、第 2 回）● センター試験過去問（25 年分） ● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4}	約 10,500 問	99521	11,000 円	25,300 円
参 考 書	新課程 チャート式データベース 数学 I+A 統合版	● 「チャート式 数学 I+A」● 「チャート式 基礎からの数学 I+A」● 「チャート式 解法と演習数学 I+A」 ● 「チャート式 基礎と演習数学 I+A」● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4} 【注】「チャート式 数学 I+A」（赤チャート）のデータは、製品 DVD-ROM には含まれておりません。本商品をご購入いただいた方は、弊社ホームページよりアップデートが必要です。	約 3,700 問	99559	15,950 円	29,700 円
	新課程 チャート式データベース 数学 II+B 統合版	● 「チャート式 数学 II+B」● 「チャート式 基礎からの数学 II+B」● 「チャート式 解法と演習数学 II+B」 ● 「チャート式 基礎と演習数学 II+B」● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4} 【注】「チャート式 数学 II+B」（赤チャート）のデータは、製品 DVD-ROM には含まれておりません。本商品をご購入いただいた方は、弊社ホームページよりアップデートが必要です。	約 3,800 問	99565	15,950 円	29,700 円
	新課程 チャート式データベース 数学 III+C 統合版	● 「チャート式 数学 III+C」● 「チャート式 基礎からの数学 III+C」● 「チャート式 解法と演習数学 III+C」 ● 「チャート式 基礎と演習数学 III+C」● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4}	約 4,000 問	99575	15,950 円	29,700 円
問題集	新課程 問題集データベース 数学 I+A 統合版	● T4STEP 数学 ● 「サクシード数学」● 「スタンダード数学」● 「CONNECT 数学」● 「T4 プロセス数学」● 「クリアーア数学」 ● 「REPEAT 数学」● 「3TRIAL 数学」● 「基礎と演習データマニア」● 「Study-Up ノート数学」● 「3ROUND 数学」 ● 「パラレルノート数学」● 「ポイントノート数学」● 「新高数学習データマニア」● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4}	約 10,670 問	99689	15,950 円	29,700 円
	新課程 問題集データベース 数学 II+B 統合版	● T4STEP 数学 ● 「サクシード数学」● 「スタンダード数学」● 「CONNECT 数学」● 「T4 プロセス数学」● 「クリアーア数学」 ● 「REPEAT 数学」● 「3TRIAL 数学」● 「基礎と演習データマニア」● 「Study-Up ノート数学」● 「3ROUND 数学」 ● 「パラレルノート数学」● 「ポイントノート数学」● 「新高数学習ノート数学」（B はありません） ● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4}	約 10,150 問	99589	15,950 円	29,700 円
	新課程 問題集データベース 数学 III+C 統合版	● T4STEP 数学 ● 「サクシード数学」● 「スタンダード数学」● 「CONNECT 数学」● 「T4 プロセス数学」● 「クリアーア数学」 ● 「REPEAT 数学」● 「3TRIAL 数学」● 「基礎と演習データマニア」● 「Study-Up ノート数学」● 「3ROUND 数学」 ● エスピーア用プレゼンテーション（紙面表示） ^{†4} 【注】T4STEP 数学 C 「サクシード数学」、「CONNECT 数学」、「T4 プロセス数学」、「クリアーア数学」以外のデータは、製品 DVD-ROM には含まれておりません。本商品をご購入いただいた方は、弊社ホームページよりアップデートが必要です。	約 8,500 問	99595	15,950 円	29,700 円
	算数・数学基本問題データベース ～小学校・中学校・高校の基本問題～ ^{NEW}	● 小学校の復習問題 ● 「10 日でしっかり復習! 小学 6 年間の算数」● 「中学数学スタンダード問題集 1 年、2 年版」● 「ステップ新高数」 ● 「練習ドリル標準編」● 「練習ドリル基本から標準編」● 「練習ドリル基本編（追加データ）」● 「Study-Up ノート数学」 ● 「3ROUND 数学」● 「パラレルノート数学」（III, C はありません）● 「ポイントノート数学」（II, C はありません） ● 「新高数学習ノート数学」（B, C はありません）● 「数学 A, II, B, III, C の要項」	約 10,850 問	99133	15,950 円	29,700 円
大 学 数 学	大学微分積分 大学線形代数 大学微分積分 + 線形代数	● 「数研講座シリーズ大学教養微分積分」● 「チャート式シリーズ大学教養微分積分」 ● 「数研講座シリーズ大学教養線形代数」● 「チャート式シリーズ大学教養線形代数」 ● 「数研講座シリーズ大学教養微分積分」● 「チャート式シリーズ大学教養線形代数」 ● 「チャート式シリーズ大学教養微分積分」● 「チャート式シリーズ大学教養線形代数」	約 510 問	99978	16,500 円	フリーライセンス版の販売はございません。
			約 460 問	99979	16,500 円	
			約 970 問	99980	29,700 円	

*上表にない DVD-ROM 版商品もございます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。 * 1 記載されている問題数はオンライン版の問題数です。DVD-ROM 版は問題数が異なることがあります。 * 2 中学数学 20 年（1996~2015）データベース（No.99624/DVD-ROM 版）をお持ちの方は「中学数学 1996~2020 データベース（No.99325）」を 1 ライセンス：税込価格 33,000 円でご購入いただけます。
* 3 「数学入試 20 年（1996~2015）データベース（No.99623/DVD-ROM 版）」をお持ちの方は「数学入試 1996~2020 データベース（No.99324）」を 1 ライセンス：税込価格 33,000 円でご購入いただけます。 * 4 DVD-ROM 版、オンライン版ともにエスピーアインストール用ディスクは付属しておりません。ご利用については、弊社ホームページをご覧ください。 <https://www.chart.co.jp/software/sviewer/use/>

Studyaid[®] オンライン

動作環境		デスクトップアプリ版	ブラウザ版
OS	Windows10, 11 ※各 OS とも日本語版のみに対応。 ※Windows10, 11 の S モードには非対応。	OS Windows10, 11 iPadOS 16 以降 macOS 13 以降 ChromeOS 最新バージョン	OS Windows : Google Chrome, Microsoft Edge iPadOS, macOS : Safari ChromeOS : Google Chrome
メモリ	4GB 以上	メモリ 4GB 以上	
ストレージ	システムドライブに 2GB 以上の空き容量	ストレージ システムドライブに 2GB 以上の空き容量	
その他	.NET Framework 4.6.2 以降	その他 .NET Framework 4.6.2 以降	

※最新の動作環境については、弊社ホームページをご覧ください。

Studyaid[®] オンライン

デスクトップアプリ版
オンライン
Windows
iPadOS
macOS

ブラウザ版
Windows
ChromeOS
iOS
macOS

iPadOS
macOS

Windows
ChromeOS
iPadOS
macOS

誰でも簡単に

1つのライセンスで、アプリ版(Windows, iPad)と
ブラウザ版の両方をご利用いただけます。

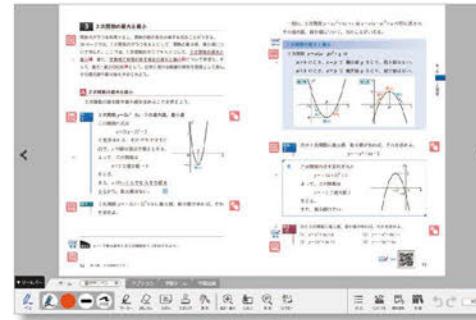
基本機能



ペン、マーカー、消しゴム、ふせん、スタンプ、教具などの基本的な機能は、ツールバーから選択して利用できます。

ツールバーの位置は、下部だけでなく左右にも変更できます。

NEW 詳しくは p.70 へ



スライドビュー

紙面を大きく表示することができます。「投影用」と「学習用」の2種類のスライドビューがあります。

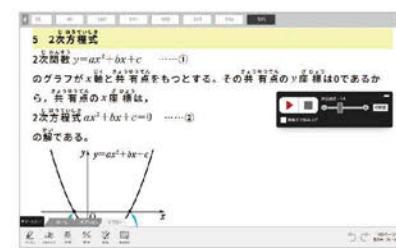
NEW 詳しくは p.70 へ



特別支援機能

音声読み上げ、配色設定、総ルビ表示、文字サイズ・書体変更などができます。

※一部教材では、特別支援機能はご利用いただけません。

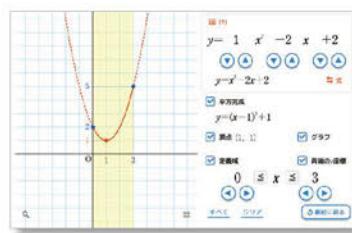


深く学べる

授業や自宅学習に役立つデジタルコンテンツや
内容解説動画を豊富に用意しています。

デジタルコンテンツ

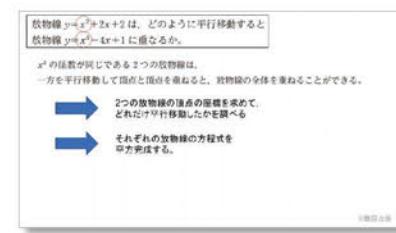
授業や自宅学習で活用できるさまざまなアニメーション・動画コンテンツがあります。



QR コンテンツについて 詳しくは p.50 へ

内容解説動画

自宅学習での予習・復習をサポートするための解説動画を用意しています。



※利用時はインターネット接続が必要です。

授業でも！自宅学習でも！充実の機能で学びを支援

充実の機能

エスピュアならではの充実した機能で、
生徒一人一人の学びを支援します。

教材連携

購入済のデジタル教科書／デジタル副教材の間で、
スムーズな連携ができます。別教材の該当ページ
や類問などをすぐに表示できます。



宿題管理

先生は、生徒のエスピュアへ宿題を配信するこ
とができます。宿題の進捗状況や、生徒が提出し
た宿題の結果・ノートの写真をいつでも確認する
ことができます。

NEW 詳しくは p.71 へ



学習の記録

生徒は、問題を解いて得た気づきを、ノートの写
真やコメントと合わせて学習の記録として残すこ
とができます。



表示制御

先生は、生徒の学習用デジタル教科書・教材／
デジタル副教材に収録されている「答」「詳解」
「コンテンツ」について、要素ごとに[見せる／見
せない]を設定できます。



演習モード

問題演習に特化した機能です。条件を指定して問題
を検索し、学習することができます。間違えた問題
や苦手な問題を効率的に復習することもできます。



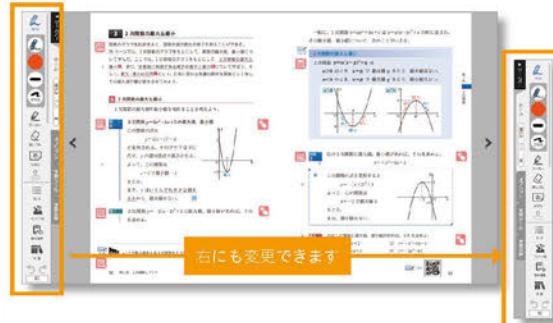
NEW 詳しくは p.71 へ



エスピュアは進化しています！

機能向上 基本機能

指 学+ 副



スムーズな動作

一般的な処理の見直しを行ったことにより、『スライドビューを開く時間』や『コンテンツを開く時間』が短縮されました。

ツールバーの位置

従来のツールバーは下部に固定されていましたが、位置を左右にも変更できるようになりました。左右に変更することで、これまで以上に紙面を大きく投影できるようになります。

ツールバーの位置の変更方法

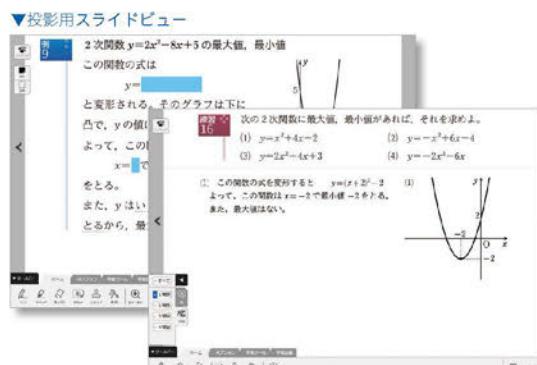
オプションタブ > 設定 > ツールバーの位置



ツールバーのレイアウト

「目次」「コンテンツ集」「教材連携」「本棚」ボタンは、アクセスしやすいようにツールバーに配置しました。

機能向上 スライドビュー



投影用スライドビュー

指 学+ 副

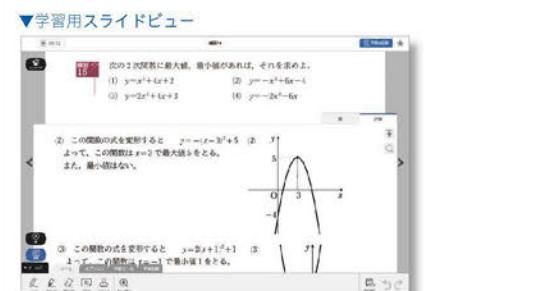
新たに搭載したスライドビューです。紙面を大きく投影することができます。

ふせんをめくりながら段階的に解説したり、小問ごとに答・詳解を表示したりできます。

※2026年3月以降に発売される教材で利用できます。

投影用/学習用スライドビューの変更方法

スライドビュー画面を表示中に
オプションタブ > 設定 > 表示モード



学習用スライドビュー

指 学+ 副

紙面を問題ごとに表示できる、従来のスライドビューです。問題と答・詳解を同時に表示できます。また、「学習の記録」を保存することもできます。

機能向上 宿題管理

指 学+ 副

生徒のエスピュアへ宿題を配信することができます。

配信できるデータは、「教材の問題」「Studyaidプリント」「PDF」の3種類です。

生徒が提出した宿題の結果を確認し、コメントを書き込んで返却することもできます。

先生が宿題を配信

生徒が宿題を受信・提出

先生が宿題の結果を確認



グループの共有

校内の先生が共通で利用できる「共有グループ」にも宿題の配信ができるようになりました。これにより、先生どうしで宿題を共有できるようになります。



新機能 演習モード

指 学+ 副

①検索



特長 1

複数の書籍を横断して問題を検索できる点は「演習モード」の特長です。複数の書籍を検索対象として、定期テストの範囲内で『できていない問題』を中心に解き直すことで、万全の状態で定期テストにのぞむことができます。

特長 2

難易度別で問題を検索でき、問題の並び替えも可能なため、一人一人の学習状況に合わせた進め方ができます。問題や「学習の記録」、マークを一目で確認し、効率的に日常学習を進めることができます。

②問題を確認



③徹底的に演習！



※2026年3月以降に発売される教材で利用できます。

体験版はこちら！



数学 デジタル教科書／デジタル副教材 ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】

「デジタル教科書／デジタル副教材」は販売終了後、一定の利用期間の後に配信を停止いたします。

配信停止後はオンラインでの利用が不可となりますのでご留意ください。

各商品の利用期間（配信期限）の最新情報は、弊社ホームページ（<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/>）をご覧ください。

改訂版 デジタル教科書（令和8年度用）／改訂版 デジタル副教材

指導者用デジタル教科書（教材）

プリント作成システムが付属しています！データはオンラインでもご利用可能です。

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

2026年3月発売予定

教科書収録問題のデータ（+プリント作成機能）を搭載。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ
指導者用デジタル教科書（教材）改訂版 数学 I	「数学」シリーズ、「NEXT」シリーズ、「高等学校」シリーズ、「新編」シリーズ、「最新」シリーズ、「新高校の数学」シリーズ	54266	未定	未定
指導者用デジタル教科書（教材）改訂版 数学 A	「数学」シリーズ、「NEXT」シリーズ、「高等学校」シリーズ、「新編」シリーズ、「最新」シリーズ、「新高校の数学」シリーズ	54270	未定	未定

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用DVD-ROM ■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○	○※1	○	○	○	○	—※2	—※2

※1「投影用スライドビュー」「学習用スライドビュー」を自由に切り替えてご利用いただけます。

※2「学習者用デジタル教科書・教材」または「指導者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。

デジタル版 指導用教科書

※新 高校の数学シリーズでは発行しておりません。

2026年3月発売予定

「指導用教科書」の内容をデジタル化したものです。指導用教科書の紙面を、エスピーアにてご利用いただけます。

シリーズ	No.	価格(税込)
数学シリーズ	(数学 I) 54401 (数学 A) 54402	未定
NEXTシリーズ	(数学 I) 54407 (数学 A) 54408	
高等学校シリーズ	(数学 I) 54413 (数学 A) 54414	
新編シリーズ	(数学 I) 54419 (数学 A) 54420	
最新シリーズ	(数学 I) 54425 (数学 A) 54426	

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：先生1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○	—	—※	—	—	—	—	—

※教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

学習者用デジタル教科書・教材

2026年3月発売予定

生徒一人一人の端末で使用する、生徒用の教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
数学シリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 数学 I	4380332D01	未定	未定
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 数学 A	4380337D01		
NEXTシリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 NEXT 数学 I	4380482D01		
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 NEXT 数学 A	4380487D01		
高等学校シリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 高等学校 数学 I	4380362D01		
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 高等学校 数学 A	4380367D01		
新編シリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 新編 数学 I	4380392D01		
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 新編 数学 A	4380397D01		
最新シリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 最新 数学 I	4380422D01		
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 最新 数学 A	4380427D01		
新高校の数学シリーズ	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 新高校の数学 I	4380452D01		
	学習者用デジタル教科書・教材 改訂版 新高校の数学 A	4380457D01		

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○	○※1	—※2	○	○	○	○※3	○※3

※1「学習用スライドビュー」のみご利用いただけます。

※2教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

※3先生は「エスピーア先生用サイト」より設定する必要があります。

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)		データサイズ
			書籍購入なし	書籍購入あり	
チャート式 基礎からの（青チャート）	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式 基礎からの数学 I + A	4310379D01			
チャート式 解法と演習（黄チャート）	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式 解法と演習数学 I + A	4310648D01			
4STEP	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 4STEP 数学 I + A	4320106D01			
サクシード	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 サクシード 数学 I + A	4320776D01			
CONNECT	学習者用デジタル版 改訂版 NEXT数学シリーズ対応 CONNECT 数学 I + A	4324540D01			
4プロセス	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 4プロセス 数学 I + A	4320276D01			
クリア一	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 クリアー 数学 I + A	4321108D01			
3TRIAL	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 3TRIAL 数学 I + A	4320358D01			
3ROUND	学習者用デジタル版 改訂版 教科書傍用 3ROUND 数学 I + A	4360084D01			

■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	—※3	○	○	○	○※4	○※4

※1 特別支援機能は含まれません。※2「学習用スライドビュー」のみご利用いただけます。

※3 書籍のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

※4 先生は「エスピーア先生用サイト」より設定する必要があります。

(注)学校採用にて書籍をご購入の場合は、「書籍購入あり」価格で販売いたします（学習者用デジタル副教材のみ）。

・該当校舎の算科書籍をご購入の場合でも、「書籍購入あり」価格で販売いたします。

・該当書籍の算科書籍をご購入の場合でも、「書籍購入あり」価格で販売いたします。

例：改訂版教科書傍用 4STEP 数学 I + A 改訂版教科書傍用 4STEP 数学 I + A を「書籍購入あり」価格で販売いたします。

・問題冊子のみご採用の場合でも「書籍購入あり」価格で販売いたします。

指導書 改訂版 新 高校の数学シリーズ ラインアップ

教授資料(→ p.54 ~ 65)

▶教授資料の構成(予定) (本冊子 p.54 参照)

教授資料本冊	学習評価サポートブック	デジタルコンテンツサポートブック NEW!
解説動画(Web配信)		付属データ(「チャート×ラボ」または DVD-ROM)

▶教授資料付属データ一覧(予定) (本冊子 p.60 参照)

授業用スライド	授業用ワークシート	アクティブ・ラーニング型授業例
単元テスト、第●章を学習する前に	解説動画対応プリント類(数学Ⅰ)	通信制高校向け レポート案
教授資料紙面 NEW!	教科書紙面	学習評価課題例 NEW!
シラバス・観点別評価規準	時間配当表、観点別評価集計ファイル	解答一覧
統計データ(数学Ⅰ)		一部の補助教材に関するプログラム

教授資料・指導者用デジタル教科書(教材)セット

指導者用デジタル教科書(教材) (→ p.72)

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

先生のための会員制サイトチャート×ラボ

「チャート×ラボ」で何ができるの?

- ご採用の教材に関連したデータのダウンロードや、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマートフォンに配信することができます。
- 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル副教材の体験版をお試しいただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>

※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者（小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方）に限定しております。



数研出版コールセンター TEL:075-231-0162 FAX:075-256-2936



東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3

関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205

関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17

支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
QRコードは株式会社ジン・ソーケーブースの登録商標です。
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
返品に関する特約：商品に欠陥のある場合は、お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。

151533